2025年度

事　業　報　告　書

鎮 西 学 院 本 部

鎮 西 学 院 大 学

鎮西学院高等学校

認定こども園　鎮西学院幼稚園

学校法人　鎮西学院

長崎県諫早市西栄田町 1212 番地 1

事業報告書

目 次

Ⅰ. 法人の概要 1

1. 基本情報 1

2. 建学の精神 1

3. 学校法人の沿革 1

4. 設置する学校・学部・学科等 3

5. 学校・学部・学科等の学生数の状況 3

6. 収容定員充足率 4

7. 役員の概要 4

(1)役員について 4

(2)役員の異動状況 4

(3)責任免除・責任限定契約、補償契約・役員賠償責任保険契約の状況 5

8. 評議員の概要 6

(1)評議員について 6

9.会計監査人の概要 6

10. 理事選任機関の概要 7

11. 教職員の概要 7

Ⅱ. 事業の概要 8

1. 2025 年度目標聖句 8

2.主な教育・研究・事業の概要 8

(1)鎮西学院大学 8

①3つのポリシー 8

②事業報告 9

(2)鎮西学院高等学校 14

①教育の目標 14

②事業報告 14

(3)認定こども園鎮西学院幼稚園 19
①理想とする保育のこころ 19
②事業報告 19
3.中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況 22
(1)中期計画の達成課題・中心的テーマ 22
(2)第Ⅱ期中期計画 22
①第Ⅱ期中期計画の財務上の達成目標 22
②各部門における教学改革と主な取り組み 23
③経営基盤の強化・ガバナンス改革 23
④第Ⅱ期中期計画 財務目標の進捗状況 24

Ⅲ. 財務の概要 25
1. 2025 年度決算の概要 25
(1)決算概要と中期計画の達成状況.....25
(2)貸借対照表 25
(3)事業活動収支計算書.....26
(4)資金収支計算書および活動区分別資金収支計算書 26
(5)学校部門別の財務状況.....26
①大学.....26
②認定こども園・高等学校 26
③法人本部.....26
(6)経営判断指標による自己診断.....27
別表 1～3.....28
2. 5 か年の経年比較 29
(1)貸借対照表 29
(2)事業活動収支計算書.....30
(3)資金収支計算書および活動区分別資金収支計算書 31
(4)財務比率の経年比較 32

3.その他 32
(1)資産運用の状況 32
(2)学校債の状況 32
(3)寄付金の状況 32
(4)補助金の状況 32
(5)収益事業の状況 34
4.学校法人の業務の適正を確保するための体制(内部統制システム)の整備運用状況.....34
(1)関係する決議の概要 34
①業務執行理事及び代表業務執行理事の選定について.....34
②学校法人鎮西学院 理事職務権限規程の制定 34
③学校法人鎮西学院 内部監査規程の制定.....34
④鎮西学院大学 研究活動不正防止規程の見直しについて.....34
(2)体制整備及び運営の概要 34
①理事の職務の遂行に係る情報の保存及び管理に関する体制 34
②損失の危険の管理に関する規程その他の体制 34
③理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制.....35
④職員の職務の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制 35
⑤監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制等 35
(3)附属明細書 36

Ⅰ　法人の概要

1.基本情報

(1)法人の名称　　学校法人鎮西学院

(2)主たる事務所の住所、電話番号、FAX 番号、ホームページアドレス等

長崎県諫早市西栄田町 1212-1

電話　0957-26-8200　　ファックス　0957-26-8009

ホームページアドレス　　https://www.chinzei-gakuin.jp/

大　学　　https://www.wesleyan.ac.jp/

高　校　　https://www.chinzeigakuin.ed.jp

認定こども園　　https://www.chinzeigakuinyouchien.ed.jp

2.建学の精神

学校法人鎮西学院は、キリスト教の信仰に基づき、教育基本法及び学校教育法並びに私立学校法の定めるところにより、学校教育を行うことを目的とします。

学校法人鎮西学院は、1881(明治 14)年、北米メソジスト教会から派遣された C.S.ロング博士によって、長崎市東山手に創立された 加伯利英和学校(カブリーセミナリー)を母体とします。

1906(明治 39)年、鎮西学院と改称し、1946(昭和 21)年、諫早市へ移転し現在に至るまで多くの学生を世に送り出しました。

キリスト教精神に基づく人格教育を理念とし、認定こども園鎮西学院幼稚園・鎮西学院高等学校・鎮西学院大学を運営しています。 学院創立 120 周年記念事業として、短期大学を改組し 2002 年4月長崎ウエスレヤン大学が開学。2021 年4月鎮西学院大学へ名称変更しました。

3.学校法人の沿革

1881 年 10 月 (明治 14 年)	本学の前身、加伯利(カブリー)英和学校を長崎市東山手 6 番地に創設。 創設者・神学博士 C.S.ロング氏、初代校長となる。
1889 年 09 月 (明治 22 年)	校名を鎮西学館と改称。つづいて学則を改めて、予科を 5 ヵ年制の中学部、高等科を 3 ヵ年制の高等学校とする。
1899 年 11 月 (明治 32 年)	文部省訓令 12 号【ミッションスクールの根幹をなすキリスト教教育を禁止する】が発布され困難の中にあったが、私立学校令により設立認可を受ける。
1906 年 05 月 (明治 39 年)	私立鎮西学院と改称。
1906 年 11 月 (明治 39 年)	校舎(E 字型レンガ 2 階建て)新築落成。
1908 年 04 月 (明治 41 年)	文部省告示 134 号を以て専門学校入学者検定第 1 号により文部大臣の指定を受け、学校経営が文部省の定める日本の教育系統に入り、本学院の面目一新する。

1930 年 01 月 （昭和 5 年）	新校舎竣工につき東山手の校舎を去り、竹の久保に移転する。
1945 年 08 月 （昭和 20 年）	原子爆弾の投下により校舎壊滅し、職員 9 名、生徒 132 名が犠牲となる。
1946 年 03 月 （昭和 21 年）	諫早市永昌町海軍病院跡に移り開校。
1947 年 04 月 （昭和 22 年）	鎮西学院中学校（新設）
1951 年 04 月 （昭和 26 年）	中井が原の旧ゴルフ場跡地を購入し、移転する。 （1949 年寄宿舎、1951 年高校校舎、1952 年中学校校舎、1953 年体育館）
1955 年 04 月 （昭和 30 年）	鎮西学院幼稚園設置。
1962 年 01 月 （昭和 37 年）	創立 80 周年に講堂が落成し、創立 80 周年記念式典と講堂の献堂式を行う。
1966 年 03 月 （昭和 41 年）	新制鎮西学院中学校を閉校。
1966 年 04 月 （昭和 41 年）	鎮西学院短期大学（英語科）を設置。翌年、教養科を増設。
1980 年 04 月 （昭和 55 年）	鎮西学院短期大学を長崎ウエスレヤン短期大学と改称。
1981 年 10 月 （昭和 56 年）	創立 100 周年を迎える。
1983 年 09 月 （昭和 58 年）	100 周年記念館落成。
1991 年 10 月 （平成 3 年）	創立 110 周年を迎える。1988 年より 3 ヶ月に亘り、高校校舎、体育館、新ロング寮を完成させる。110 周年記念写真集発行。
1996 年 04 月 （平成 8 年）	短期大学創立 30 周年を迎える。
2002 年 04 月 （平成 14 年）	長崎ウエスレヤン大学開学。（短期大学を改組転換）
2005 年 04 月 （平成 17 年）	鎮西学院幼稚園創立 50 周年を迎える。
2005 年 04 月 （平成 17 年）	大学は社会福祉学科、地域づくり学科、国際交流学科の 3 学科に改組。
2005 年 08 月 （平成 17 年）	鎮西学院被曝 60 年平和記念事業として、平和の鐘の建立、平和宣言の碑の建立、長崎から諫早までの平和大行進を行う。
2006 年 10 月 （平成 18 年）	創立 125 周年を迎える。
2009 年 08 月 （平成 21 年）	長崎原爆特集「あの日 僕らの夢が消えた」～被爆学校 生徒たちの 64 年～ NHK 総合で全国放映。

2009 年 08 月 （平成 21 年）	原爆死没者慰霊碑建立、除幕式を行う。
2010 年 04 月 （平成 22 年）	長崎ウエスレヤン大学に経済政策学科を新設。
2011 年 04 月 （平成 23 年）	長崎ウエスレヤン大学国際交流学科を外国語学科に名称変更。
2011 年 10 月 （平成 23 年）	創立 130 周年記念事業として、旧制中学校原爆投下当時在校生名簿・被爆記録誌「あの日 僕らの夢が消えた」発刊。
2021 年 10 月 （令和 3 年）	長崎ウエスレヤン大学から鎮西学院大学へ名称変更。
2024 年 04 月 （令和 6 年）	現代社会学部より総合社会学部、外国語学科より多文化コミュニケーション学科へ名称変更。

4.設置する学校・学部・学科等

設置する学校 （設置認可年月日）	学部・学科	設置認可・届出年月日	開設・改組等年月日
鎮西学院大学			
総合社会学部 （2001 年 12 月 20 日）	社会福祉学科	2004 年 3 月 2 日	2005 年 4 月 1 日
	多文化コミュニケーション学科	2004 年 3 月 2 日	2024 年 4 月 1 日
	経済政策学科	2004 年 3 月 2 日	2010 年 4 月 1 日
別科		2022 年 12 月 27 日	2023 年 10 月 1 日
鎮西学院高等学校			
全日制 （1951 年 3 月 31 日）	普通科	2017 年 9 月 22 日	2018 年 4 月 1 日
	商業科	2017 年 9 月 22 日	2018 年 4 月 1 日
認定こども園鎮西学院幼稚園		2023 年 6 月 29 日	2023 年 7 月 1 日

5.学校・学部・学科等の学生数の状況

（2025 年 5 月 1 日現在）

設置する学校	学部・学科	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
鎮西学院大学	総合社会学部	140	170	580	670
	別科	40	32	80	64
鎮西学院高等学校	普通科	260	261	780	785
	商業科	40	31	120	89
認定こども園鎮西学院幼稚園		102	83	102	83

6.収容定員充足率　　（2025 年 5 月 1 日現在）

学　　校　　名	2021年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
鎮西学院大学	94.5	104.8	107.1	112.1	115.5
別　　科	-	-	100.0	56.2	80.0
鎮西学院高等学校	105.2	107.6	106.7	106.7	97.1
認定こども園 鎮西学院幼稚園	68.7	82.0	66.0	74.9	81.4

参考　2026年度は、大学 111.0、別科 80.0、高等学校 100.2、認定こども園 83.3

7.役員の概要

(1)役員について

・定員数　　理事:9名、監事：2名　　2026.3.31現在

氏　　名	役職	常勤 / 非常勤	業務執行理事 / 非業務執行理事	就任年月日	主な現職
重 松 史 郎	理事	非常勤	業務執行理事	理事長:2023年2月1日 理事:2018年6月20日	理事長・司法書士
姜　尚 中	理事	常勤	非業務執行理事等	2018年4月1日	大学学長
齋 藤 州 澄	理事	常勤	非業務執行理事等	2025年3月31日	高等学校校長
原 田 裕 子	理事	常勤	非業務執行理事等	2017年4月1日	認定こども園園長
南　慎 一郎	理事	常勤	非業務執行理事等	2018年4月1日	法人事務局長
牧 平 年 廣	理事	非常勤	非業務執行理事等	2024年7月5日	㈱きょくとう　会長
宮 下 昌 子	理事	非常勤	非業務執行理事等	2022年5月26日	医療法人理事長
中 川 幸 久	理事	非常勤	非業務執行理事等	2024年6月20日	長崎大学　特定教授
一 瀬 悦 朗	監事	非常勤	非業務執行理事等	2024年6月20日	弁護士
中 園 順 喜	監事	非常勤	非業務執行理事等	2024年6月20日	いさはやコンピュータカレッジ学長

(2)役員の異動状況

2026.3.31現在

就任	2025年6月27日付	重　松　史　郎	業務執行理事　理事長　再任
		姜　尚　中	業務執行理事　再任
		齋　藤　州　澄	業務執行理事　再任
		原　田　裕　子	業務執行理事　再任
		南　慎　一郎	業務執行理事　再任
		牧　平　年　廣	非業務執行理事等　再任
		宮　下　昌　子	非業務執行理事等　再任
		中　川　幸　久	非業務執行理事等　再任
		一　瀬　悦　朗	非業務執行理事等　再任
		中　園　順　喜	非業務執行理事等　再任
退任	2025年6月26日付	神　田　道　隆	非業務執行理事等　任期満了
		鐵　口　宗　久	非業務執行理事等　任期満了
		森　俊　介	非業務執行理事等　任期満了
		竹　田　雄　亮	非業務執行理事等　任期満了
		三　宅　ま　ゆ　み	非業務執行理事等　任期満了
		汐　碇　直　美	非業務執行理事等　任期満了

（3）責任免除・責任限定契約、補償契約・役員賠償責任保険契約の状況

①責任免除

・寄付行為第59 条第1項において役員の責任免除を次のとおり規定している。

役員又は会計監査人が任務を怠ったことによって生じた損害についてこの法人に対し賠償する責任は、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がなく、その原因や職務執行状況などの事情を勘案して特に必要と認める場合には、役員又は会計監査人が賠償の責任を負う額から私立学校法第九十二条の規定に基づく最低責任限度額を控除して得た額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

②責任限定契約

・寄付行為第 60 条において役員の責任限定契約を次のとおり規定している。

理事（理事長、代表業務執行理事、業務執行理事及びこの法人の職員である理事を除く。以下この条において「非業務執行理事」という。）、監事又は会計監査人が任務を怠ったことによって生じた損害についてこの法人に対し賠償する責任は、当該非業務執行理事、監事又は会計監査人が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、金 10 万円以上であらかじめ定めた額と私立学校法第九十二条の規定に基づく最低責任限度額とのいずれか高い額を限度とする旨の契約を非業務執行理事、監事又は会計監査人と締結することができる。

③補償契約

・該当なし

④役員賠償責任保険

・役員賠償責任保険

学校法人役員個人を被保険者とした私立学校法第97条に規定する役員賠償責任保険を保険会社との間で締結している。本学院は、2025年 1 月 31 日の理事会において、同年4月1日付けで保険に加入し、保険料は、全額本法人が負担することを決議した。契約内容は次のとおり。

保険会社：東京海上日動火災保険株式会社

保険名称：私大協役員賠償責任保険

契約内容：学校法人や第三者訴訟等により、被保険者が負担することとなる訴訟費用及び損害賠償金等を補填の対象とする。

保険期間：2025年4月1日～2026年4月1日（1年間）

被保険者：理事9名、監事2名、評議員18名、理事会決議により選任された教職員

支払限度額：3億円

8.評議員の概要

(1)評議員について

・定員数　　評議員18名　　2026.3.31現在

選任区分		氏　名	就任年月日	主な現職
大学教員	32-1-1	南　川　恵	2024年7月5日	鎮西学院大学　教授
高校教員	32-1-1	向　敏彦	2025年6月27日	鎮西学院高等学校　指導監
認定こども園教員	32-1-1	荒木智子	2025年6月27日	認定こども園鎮西学院幼稚園　主幹
大学学部長	32-1-2	裵　瑢俊	2024年4月1日	鎮西学院大学　学部長
高校教頭	32-1-3	緒方興治郎	2025年3月31日	鎮西学院高等学校　教頭
学院総宗教主事	32-1-4	鐵口宗久	2011年5月27日	学校法人鎮西学院　総宗教主事
卒業生	32-1-5	西　川　亨	2021年6月20日	自営業、校友会　会長
卒業生	32-1-5	三宅まゆみ	2024年7月5日	北九州市議、校友会
卒業生	32-1-5	竹田雄亮	2024年7月5日	長崎市議会議員、校友会
教役者	32-1-6	汐碇直美	2024年7月5日	日本キリスト教団長崎銀屋町教会　主任教師
学識経験者	32-1-7	鈴木勇次	2018年6月20日	平和祈念ミュージアム館長
学識経験者	32-1-7	竹市保彦	2024年7月5日	諫早市シルバー人材センター事務局長
学識経験者	32-1-7	原田裕介	2025年6月27日	原田楽器　代表取締役諫早市教育委員
学識経験者	32-1-7	田島光浩	2025年6月27日	南高愛隣会　理事長
学識経験者	32-1-7	奥田知志	2025年6月27日	日本バプテスト東八幡キリスト教会　牧師
大学保護者	32-1-8	和田正之	2024年7月5日	鎮西学院大学後援会　会長
高校保護者	32-1-8	千住良治	2025年6月27日	鎮西学院高等学校 PTA会長長崎県議会議員
認定こども園保護者	32-1-8	松田亜沙美	2025年6月27日	認定こども園鎮西学院幼稚園　ひかりの会　会長

評議員は、役員賠償責任保険のみ被保険者である。

9.会計監査人の概要

・定数　会計監査人2名

名　称	就任年月日	備　考
監査法人北三会計社	2025.6.27	

寄附行為第59条の責任の免除、寄附行為第60条の責任限定契約並びに役員賠償責任保険は、役員と同様に対象である。

なお、会計監査人の定数について、誤記により現在の寄附行為上2名と記載されている。この点については2026 年 3 月 27 日の第2回理事会おいて会計監査人の定数を1名とする旨の寄附行為の変更を決議しており、現在寄附行為の変更手続き中である。

10.理事選任機関の概要

学校法人鎮西学院の理事選任機関は、理事会とする。(寄附行為第７条第１項)
理事選任機関の構成員は、全ての理事とする。(寄附行為第７条第２項)

11.教職員の概要

2025(令和7)年5月1日現在

	専任教員	兼務教員	専任職員	兼務職員	専任計	兼務計	合計
本　　部	0	0	12	0	12	0	12
大　　学	37	64	34	4	71	68	139
高　　校	47	31	23	3	70	34	104
認定こども園	13	0	2	1	15	1	16
計	97	95	71	8	168	103	271

兼務職員は、週３０時間以上勤務者を記載。

Ⅱ　事業の概要

1.2025 年度目標聖句

新約聖書「ローマ人への手紙」 第12章17―21

だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で善を行うように心がけなさい。できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らしなさい。愛する人たち、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。「『復讐はわたしのすること、わたしが報復する』と主は言われる」と書いてあります。「あなたの敵が飢えていたら食べさせ、渇いていたら飲ませよ。そうすれば、燃える炭火を彼の頭に積むことになる。」悪に負けることなく、善をもって悪に勝ちなさい。

2.主な教育・研究・事業の概要

(1)鎮西学院大学

①3つのポリシー

- ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学は、キリスト教の信仰から生まれる価値観を基盤とし、「人を愛し、他者に尽くし、礼儀正しく人の見本となる」クリスチャン・ジェントルマンの育成を教育の柱としています。

卒業認定と学位授与の基準は以下の通りです。

育成する人材像: 倫理性が高く、優れた教養と専門的知識・技術を持ち、平和で多様性に富んだ「共生社会」の形成に寄与できる、国際的に有為な社会人を育成します。

修得すべき能力: ローカルな視点とグローバルな視点を併せ持つ複眼的な思考能力、および共感・実行力を養うことが求められます。

卒業要件: 本学に 4 年以上（早期卒業の場合は 3 年以上）在学し、学科ごとに定められた卒業要件単位（原則として 124 単位以上）を修得した者に対し、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学士の学位を授与します。

- カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

教育目的を達成するため、段階的に知識・技術を習得できる体系的な教育課程を編成しています。

積み上げ型モジュール学習プログラム: 学修の到達段階を「基礎」「基幹」「発展」「応用」の 4 段階に分け、体系的に学べる仕組みを導入しています。

科目体系: 授業科目は「基盤教育科目」「コアモジュール」「専門教育科目」の 3 つに区分されます。

コアモジュール: 各学年の核となる必修科目の集まりで、大学入門セミナー、基礎演習、専門演習、卒業研究などで構成されます。

全学連携開設科目: 学科の枠を超えて、異文化間コミュニケーション、地域ビジネス、福祉入門などを学ぶ科目が用意されています。

実践的な学修: PBL(課題解決型学習)、地域課題 PBL、グローバル PBL、インターンシップなど、体験を通じた学びを重視しています。

- アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

本学の建学の精神や目的に共感し、主体的に学ぼうとする意欲のある学生を広く受け入れます。

求める学生像:「クリスチャン・ジェントルマン」(品性高潔かつ信仰ある人)を目指し、自己の資質を向上させたいと願う人。

平和で多様な「共生社会」の形成に、ローカルかつグローバルな視点を持って寄与したいという意欲がある人。

入学資格と選考: 高等学校卒業者、またはそれと同等以上の学力があると認められる者に対し、多様な選抜方法(総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜など)を用いて多角的に評価し、選考を行います。

②事業報告

(ア)教学改革の進捗状況

1)入学定員・収容定員の確保

高大連携事業や高校訪問、また積極的な留学生募集活動など全教職員の継続した努力の成果により、本年度も入学定員を上回る学生を獲得することができた。収容定員も1.1倍以上で充足しており、第Ⅱ期中期計画における今年度の目標を達成した。

2)日本私立学校振興・共済事業団「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」事業に選定

2024年度に選定されたメニュー1に続き、メニュー2「複数大学等の連携による機能の共同化・高度化を通じた経営改革支援」に選定された。本事業は「西九州ウェルネス・アライアンス:デジタル共通基盤を核とした福祉専門職教育の共同化と大学経営改革」と題し、長崎国際大学・西九州大学と連携しながら経営DX化と教学改革を実施する。支援期間は、2025(令和7)年度から2028(令和10)年度。

3)令和6年度選定 大学・高専機能強化支援事業「学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援」の遂行

2028(令和10)年度設置に向け、新学部の教育内容について協議するため、産業界・行政から成る新学部設置協議会を計4回実施した。企業が持つ課題や育成してほしい人材像などについての意見交換を通して、産学官連携による特色あるカリキュラムを構築することができた。

4)学生の自己実現に向けたキャリア支援の成果

全学的キャリア支援プログラムの成果が継続して出ており、卒業生の就職率は年々上昇している。社会福祉学科と経済政策学科においては100％を達成した。また留学生においても、就職内定者は国内企業に正社員として内定しており、高い就職率となっている。

【就職・進路実績】

- 就職率

	2023年度	2024年度	2025年度
全体	92.5%	98.4%	99.2%
社会福祉学科	88.9%	97.3%	100%
経済政策学科	93.2%	100%	100%
多文化コミュニケーション学科	91.1%	97.7%	96.4%

就職者　127人　※就職希望者 128人／卒業者 145人中
（内訳） 一般企業82名　医療・福祉15名　公務13名
教職8名　団体および組合関係5名　海外その他4名
※県内：73人 県外：54人

- 留学生のみ

	2024年度	2025年度
就職率	100%	100%
進学率	0	0

就職者　10人　※就職希望者 10人／留学生数 14人中
帰国者　4人

- 主な就職先： 宮崎地方裁判所（裁判所事務官）、海上保安庁（幹部候補生）、長崎県（一般行政、教育事務、社会福祉）、長崎県教員（中学英語、特別支援）、長崎市（一般行政）、 長崎県警察、独立行政法人国立病院機構九州グループ、長崎県国民健康保険団体連合会、学校法人長崎女子商業学園、学校法人玉木学園、（株）ジャパネットホールディングス、（株）十八親和銀行、（株）福岡中央銀行、（株）再春館製薬所、ヒルトン京都、（株）カトープレジャーグループ、山下医療器械（株）、（株）九州ガスホールディングス、小野建（株）、藤村薬品（株）、（株）ワールドインテック、ホテルマネージメントインターナショナル（株）、（株）にしけい、ホテルマネージメントインターナショナル（株）長崎にっしょうかん、ANA テレマート（株）、宮崎電機工業（株）、社会福祉法人南高愛隣会、社会福祉法人明星会、社会福祉法人諫早市手をつなぐ育成会
など

【資格取得支援】

- 福祉関係国家資格新卒者合格率　　※カッコ内は全国平均

	2023年度	2024年度	2025年度
社会福祉士	52.6% （58.1%）	56.5% （56.3%）	59.1% （60.7%）
精神保健福祉士	66.7% （70.4%）	66.7% （70.7%）	66.7% （78.2%）
W受験	66.7%	66.7%	66.7%

2025年度　社福:13/22　精神:4/6　ダブル:4/6

- 英語教育（TOEIC）

	受験者数（人）	最高スコア（点）
2023 年度	51	840
2024 年度	49	865
2025 年度	57	970

- TOPIK（韓国語能力試験）

	申請者数（人）	最高取得級
2024 年度	3	6 級
2025 年度	10	3 級

- HSK（漢語水平考試）

	申請者数（人）	最高取得級
2024 年度	5	4 級
2025 年度	2	5 級

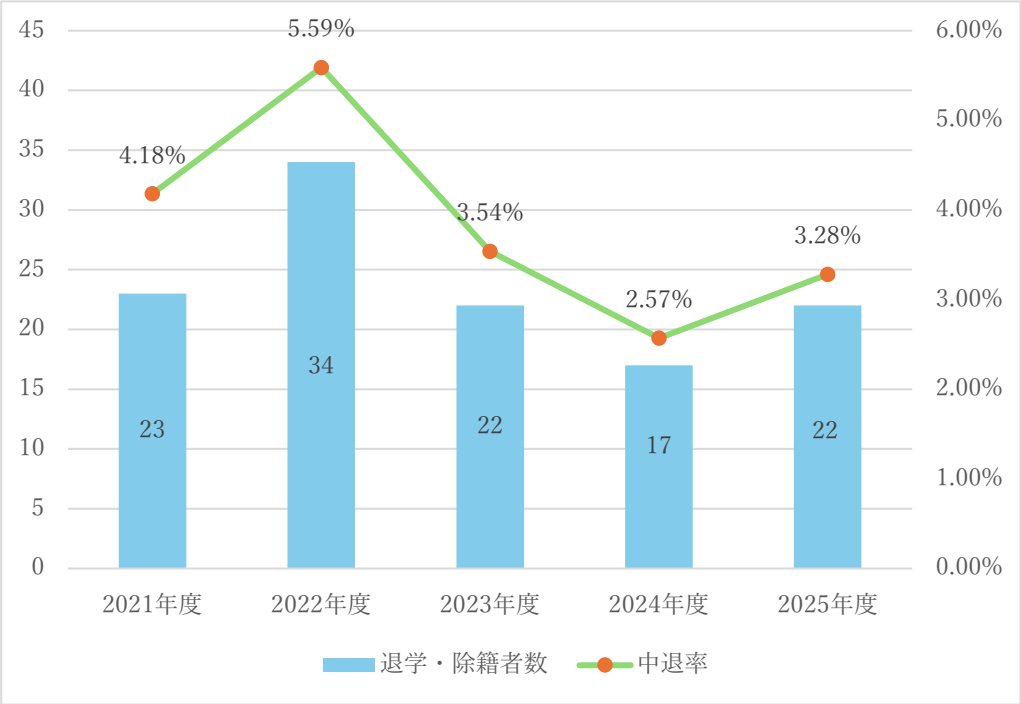
5）修学支援への取り組み

- 定期的なキッチンカーや移動コンビニの配置など、アメニティの向上を図った。
- 昨年度と同様、就学支援の一環として、国の助成制度を活用し、新たな修学支援制度が適用されない学生（留学生含む）の学費減免を実施した。
- 文部科学省による認定教育プログラムである「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」へ積極的に取組み、2024年度のリテラシーレベル認定に引き続き、応用基礎レベルの認定を受けた。県内私立大学では、2校目の認定校となっている。

6）中退予防

学生委員会を中心にキャンパスソーシャルワーカー、学生相談室、学外専門機関・専門家との一体的かつ総合的な学生支援体制のもと、継続して中退予防に取り組んでいる。当年度は 2024 年度より中退率が微増したが、目標である 5%以下は継続して達成している。

【退学・除籍者数と中退率の推移】



7)留学生の受け入れ・派遣

留学生日本語別科においては33名を受け入れ、修了生として29名を輩出した。また、交換留学(派遣)については、韓国・カナダ・台湾へ計9名、海外短期研修として中国へ2名、海外実習としてタイへ12名、台湾へ2名、フィリピンへ6名、ニュージーランドへ1名を派遣した。

【2026年度日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度結果一覧】

プログラム名	人数	採択結果
交換留学プログラム	22名	20,540,000円
タイ コミュニティーサービス コンケンプログラム	8名	720,000円

(イ)地域連携・産学官連携への取り組み

1) 受託事業一覧

【2025年度 受託事業一覧】

調査・事業名	委託元	金額
まちづくり研究室・生涯学習室の運営	諫早市	－
令和7年度諫早市立小中学校言語サポーター派遣事業	諫早市	300,000 円
令和7年度インターナショナルアドベンチャーデイ事業	諫早市	150,000 円

2) 九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム(QSP)

引き続き、長崎県・佐賀県の国公私立大学・短大、自治体、産業界によるプラットフォーム形成事業に参画し、「人材育成・高大連携ワーキング・グループ」責任校として、キャリア支援

プログラムや共同入試、リカレント教育プログラム（公開講座※後掲）を実施した。

〈地域創生リーダー育成プログラム〉

1年生対象の地元就職活動プログラムでは、企業魅力発見バスツアーを実施。地域創生支援リーダー育成入試で入学した2名（長崎国際大学）と鎮西学院大学から3名の学生が参加。3年生対象プログラムでは、長崎外国語大学との共同事業として18親和銀行本店とヒルトン長崎で企業見学会を実施。

3）公開講座実施状況

九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム事業に関連して、参画する大学と共催で、社会人向けの公開講座を実施した。また、諫早市の後援を受け、高校生以上の市民の方を対象とした生成AIに関するIT講座も実施し、多数の市民に参加いただいた。

講座名	主催	開催日
九州西部地域大学・短期大学連合 産学官連携プラットフォーム公開講座 社会人キャリア形成プログラム 「生成 AI の使い方」	鎮西学院大学、 長崎外国語大学	2025 年 9 月 27 日（土）
まちづくり研究室市民公開講座 「IT 講座」	まちづくり研究室	2025 年 6 月 28 日（土）より 全 5 回

（ウ）学生募集・広報活動の状況

1）高大連携関連事業

継続して鎮西学院高等学校との「高大連携講座」に年間を通して取り組み、各学年を対象とした連携プログラムを実施した。2 年生を対象としたワークショップでは、15 のテーマ別に分かれ、大学教員や学生との交流を図った。

福祉教育関連企画として、第 27 回福祉教育セミナーと第 14 回長崎県高校生福祉体験成果発表会を実施した。長崎県高校生福祉体験成果発表会は、全国大会に向けた長崎県の予選会としても位置付けられ、また参加高校による本学見学会が随時おこなわれるなど、高大連携の関係性を継続・強化できている。

2）学生募集活動

年間を通して高校訪問、進路ガイダンス等での広報活動をおこない、特に高校生に直接説明することができるガイダンスへ積極的に参加した。高校訪問では、その高校を卒業した学生の状況を伝えることがとても効果的で、本学への信頼とブランド化に繋がっていると感じている。

鎮西学院高等学校の協力により、学院内進学者数については目標を達成できた。また、県内大規模進学校から20名の入学があり、昨年度と同様であった。

学生が主役のオープンキャンパスでは、学生の生の声を聞くことができるため、参加者からは大変好評であった。今後も継続して学生の活躍の場を増やし、学生募集に繋げていきたい。

(エ)学術研究

- 科学研究費助成事業の獲得状況

「2025 年度科学研究費助成事業」の継続課題は学術研究助成基金助成金 6 件、新規採択課題は学術研究助成基金助成金 1 件であった。

「2026 年度科学研究費助成事業」への申請件数は 9 件、採択課題は 1 件であった。

地域総合研究所共同研究応募者には、科研費を含む競争的資金事業への応募を申請条件としており、昨年度並みの応募件数であった。

(2)鎮西学院高等学校

① 教育目標

1)建学の精神　　「 品性高潔なるクリスチャンジェントルマンの育成 」

2)スクールモットー　「 敬天愛人 」

3)教職員向け　　「 Students First! 」

判断に迷ったとき、それは何のため？誰のため？

生徒のためなら苦労を厭わない教師たれ

4)生徒向け　　「 Be a Christian Gentleman 」

品のある生徒たれ

礼儀正しく思いやりがあり、周囲の人々に対して尊重の気持ちで接することが出来る生徒

② 事業報告

(ア)　教育の5本柱と目標

1)幅広く確かな進路保障

進　学	目　　標	国公立大学に旧帝大１名以上を含み、のべ３０名以上の合格
	達成状況	国公立大学合格者２９名、旧帝大の合格者はなし
	目　　標	グローバルイングリッシュコースからの国公立大学１５％（３名）以上の合格
	達成状況	宇都宮大・神戸市外国語大・北九州市立大・叡啓大の4名合格
	目　　標	一般進学コース、商業科からの国公立大学各1名以上の合格
	達成状況	商業科から長崎大学経済学部に1名合格
	目　　標	キリスト教学校教育同盟校等を中心とした有名私大への合格
	達成状況	同志社大・関西学院大・明治学院大2名・西南学院大8名などに合格
	目　　標	鎮西学院大学に在籍の15%(45名)以上の入学
	達成状況	のべ合格者34名、実入学者30名(在籍の10%)
公務員	目　　標	受験者8割の公務員就職。県庁・市役所への複数合格
	達成状況	受験者64%が公務員就職　県庁3名・各種市役所4名合格
就　職	目　　標	15年連続就職率100%の達成と地元有名企業への就職者数増
	達成状況	就職率100%達成　三菱重工パワー検査・長崎キャノンなどに14名

2）盛んな部活動

目　　標	高校総体優勝旗5本を目指す
達成状況	卓球男女・バスケットボール女子・サッカー女子・駅伝男子の5本で達成
目　　標	陸上男子の全国高校駅伝競走大会での入賞を目指す
達成状況	出場58校中51位で目標には遠く及ばず
目　　標	文化部活動入部率アップ
達成状況	文化部入部者数 225名（2024.4.22）であったのが215名（2025.4.15）と微減

3）グローバル教育の推進

目　　標	質の高い留学生の積極的受入れ
達成状況	短期でAFS（チェコ・ラトビア・タイ・韓国・パキスタン）・ロータリー（カナダ） 日本在住の外国籍の生徒、中国からの留学生を受け入れ
目　　標	海外高校、訪問団との交流
達成状況	上海アリーテバイリンガルスクール・アセンズ市からの訪問団を受け入れ交流
目　　標	生徒の海外研修参加促進
達成状況	アメリカ・カナダ・上海・台湾・韓国どに合計7人が参加 月に2週間、GEコース2年生全員がテネシーウエスレヤン大学研修に参加
目　　標	海外修学旅行の実施
達成状況	2年生3月に韓国への修学旅行を実施（3泊4日）
目　　標	GEコースと中学校のイングリッシュプログラムの実施
達成状況	諫早市立小長井小中学校・小野中学校と交流プログラム実施

4）ICT 化の推進

目　　標	教室でのICT活用推進
達成状況	iPad・電子黒板を用いた授業など活用増加
目　　標	教師と生徒のデジタルスキル向上
達成状況	定期考査・入学試験でのデジタル採点など活用増加
目　　標	オンライン学習環境の充実
達成状況	すらら・atama+・Classi授業動画など活用増加

5）キリスト教教育

目　　標	学院の根幹となる教育理念 毎日の礼拝、学校行事、宗教行事などを通して「敬天愛人」の精神を育む 品性高潔なるクリスチャンジェントルマンの育成
達成状況	「主の祈り」は暗唱、愛唱讃美歌、愛唱聖句を最低1つを持って卒業

（イ）　教職員の研修・育成

1)教員の専門性向上

目　　標	Find！ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾅｰ社提供の研修動画視聴推進
達成状況	YouTubeなど他媒体のコンテンツの方が効果的という意見もあり、あまり進まなかった
目　　標	公開授業、研究授業の設定
達成状況	3月に7教科が実施
目　　標	校外研修で学んだことの伝達研修実施☒
達成状況	委員会単位で実施
目　　標	発達障害児などの対応研修
達成状況	委員会単位で実施

2)労働環境の改善やワークライフバランスの推進

目　　標	変形労働制による柔軟な勤務
達成状況	2023年度から本格的に導入し、定着している
目　　標	生理休暇、看護休暇、育児目的有給休暇制度の推進
達成状況	以前より制度はあったが、認知が広まった

（ウ）　生徒支援体制

1)心のケアの支援体制

目　　標	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置
達成状況	担任の負担が減り、問題を抱える生徒を速やかに関係機関につなぐことが出来た
目　　標	特別支援が必要な生徒への支援活動、内容の共有
	生徒の変化を早期にキャッチ（毎朝のHR、授業、休み時間、放課後の観察、アンケート）
	転退学者の抑制
達成状況	21名（2024）が27名（2025）で増加　うち留学生の退学が3名⇒8名

2)学力向上、進路指導の支援体制

目　　標	鎮西E＋の推進
達成状況	保護者の費用負担感があるが、概ね好評で効果を感じている
目　　標	一般進学コース生にe-learning教材「すらら」を活用した学力向上
達成状況	一般進学コース委員会を中心に実施、学力向上の効果を感じている
目　　標	一部の教員に偏らない全教員での支援（面接指導、志望理由書指導、小論文指導など）
	進路行事を通したキャリア教育の推進（総合探究活動、卒業生講話、業務説明会など）
	県内就職推進員の配置による就職支援体制の充実
達成状況	就職希望者14名全員就職　うち県内一般企業に10名

（エ）　リスク管理と危機対応

1)リスク評価と対応策

目　　標	天災や緊急事態への対応策（災害時の避難計画、安全確保など）
	危機管理マニュアルの定期的見直し
達成状況	5月に防災避難訓練を実施

2)情報セキュリティと個人情報保護

目　　標	生徒教職員の個人情報管理や学校の情報セキュリティ強化

（オ）　施設・設備の整備計画

工事名	契約金額
高圧受変電設備改修工事（キュービクル改修）	25,300,000 円（税込）
体育館床改修工事（床張替）	34,100,000 円（税込）
物理室空調機入替工事（エアコン取替）	1,771,000 円（税込）

（カ）　予算・財務計画

1)資金調達計画

目　　標	達成状況
公的補助金の活用と新規申請	よかとこ推進プロジェクト 160 万など
通年の寄付金募集	事務室前にチラシを設置
クラウドファンディングの活用	手数料負担が障害となり実施せず
校納金のアップ	2026 年度より改定

2)費用削減計画

目　　標	支出の見直し
	節電、節ガス、節水、節紙など節約意識の向上
達成状況	意識向上はみられるが、大きな費用削減にはつながっていない

（キ）　教職員採用計画

1)教員採用計画

目　　標	国語科講師、部活動指導が出来る女性体育科講師、クリスチャン教諭他
達成状況	クリスチャン教諭は採用できなかったが、国語科3名採用など充足

2)職員採用計画

目　　標	部活動指導が兼務出来る寮副舎監
達成状況	採用に至らず、引き続き求人中

（ク）　広報生徒募集戦略

1)教育内容の充実・魅力アップ

目　　標	各科コースの魅力をもっと明確に打ち出す(特に国公立大学進学コース・商業科)
	第1希望受験者数増を目指す
達成状況	推薦・部奨・学奨・専願入試受験者が253名(2025)から298名(2026)に増えた。
目　　標	小中学生対象の学外クラブ活動設置の推奨
達成状況	サッカー(毎週水曜日夕方・10～15人)、卓球(本校に入学したため現在不在)

2)情報発信

目　　標	ホームページ更新頻度増、SNS発信(公式InstagramやTikTokの立ち上げ)
達成状況	ホームページ更新の代りに公式Instagramを立ち上げ、情報発信増につなげた
目　　標	文化祭の外部集客
達成状況	8月第4土曜日に実施　約400名の来客者

3)オープンキャンパス,入試個別相談会の複数回実施

目　　標	生徒補助員活用の復活や内容の見直し
達成状況	コロナ禍も落ち着き、生徒主体で実施することが出来た
目　　標	部活動体験型オープンキャンパスの充実
達成状況	体育館床改修工事のため一部を9月下旬に実施したが、効果的だった

4)2026 年度完全無償化に向けての計画

目　　標	奨学生制度と奨学生免除範囲の見直し
達成状況	授業料無償化に伴い、奨学費は教育充実費を中心に見直し
	S奨学生からもICT諸費は徴収　遠隔地奨学制度を廃止
目　　標	入試制度の修正
達成状況	学業奨学生入試を推薦型とチャレンジ型に分けた

（ケ）　その他

1)V ファーレン長崎との関係強化

取　　組	意見交換会を実施

2)カリキュラムの見直し

取　　組	2027年度カリキュラムの見直し実施予定

3)新しいアイデア実行の推進

取　　組	NHK学園高等学校との併修制度を構築
	この制度を用いて2名を卒業に導き、1名が2年次の国公進コースへ変更出来た

（3）認定こども園鎮西学院幼稚園

①理想とする保育のこころ

- キリスト教の教えの中から、人を思いやる、愛のある心を育てます。
- 学院全体の緑豊かな自然の中で、伸び伸びと育てます。
- 家庭的な温かい雰囲気の中で、ゆっくりと大切に見守ります。

②事業報告

(ア)　教学改革計画

♦幼稚園創立70周年記念礼拝・記念行事実施

・6/23　70周年記念礼拝（前園長ほか学院関係者出席）

・9/19　記念行事：マジックDOさんによるマジックショー

♦保育内容の充実

1）キリスト教保育（敬天愛人）の充実

・全クラス、毎日のお祈りを欠かさず、神様の存在を伝え、「感謝」「思いやり」の心が育まれるよう努めた。

・園児及び保護者が教会や牧師、聖書に親しみが持てるよう総宗教主事の鐵口先生、諫早教会牧師阪口先生にお話をしていただき、ピースチャペルにて親子礼拝を実施。

・園長・教員が、合同礼拝や行事での礼拝にて、聖書の話をし、子ども達と共に聖句について学んだ。

・教職員も諫早教会に出かけたり、キリスト教保育連盟の研修会に参加したりして、キリスト教について学びを深めた。

・金曜日の終礼にて「キリスト教保育指針（2024年改訂版）」の読み合わせ会を行った。

2）PDCA（計画・実行・評価・改善）を忠実に

・年間保育計画　→　月案　→　週案　　園長・主幹2名　確認、検印

・週案提出（幼稚園）　…　第2，4月曜日

・業務記録・運転日報・週案（保育部）の提出　…　第1,3月曜日

3）協議等の時間確保のため、毎日の終礼（連絡会）を有効に。

・全員は集まれないが、行事の要項確認、子どもや保護者に関しての共通理解など行った。

4）進級時、新旧担任間で、書面だけでなく口頭で引継ぎを行っている。

5）自己評価

・各自１年間の振り返りを行う。個々の反省及び園全体の問題点を無記名で記入した。その中で、食事指導について教員間で違いがあるとの意見が複数あったため、マニュアル作成を行った。

6）連絡簿作成。全教職員が目を通しチェックを入れ、細かい伝達不足を避けた。

7）行事の計画的実践

・前年度の反省から、行事等の起案が遅くなりがちだったため、計画表通り実行できるよう努め、改善がなされた。

・専任の共有ホルダーを利用し、行事毎に反省の書き込みを実施し、全員の意見を収集できた。

・年長児そら組ワクワクデー（夜まで共に過ごす行事）では、長崎県立美術館にて鑑賞と体験（線のおさんぽ）ができた。

・花の日こどもの日では、年長児が諫早教会、消防署、警察署を訪問。感謝の気持ちを込め、各家庭より持ち寄った花束（教会には手作りの主の祈りカード）を贈った。
他学年の子ども達も学院内、関係業者にお花を届けた。
・年金事務所より依頼のあった「年金デー」に合わせた絵画出展。諫早駅に展示、表彰を受けるセレモニー参加。
・大学見学の島原農業高校生、園見学受け入れ。
・食育ボランティアグループ「きらきらクラブ」による食育お話会を学期に 1 回、給食委託業者シダックス栄養士による食育指導も実施。（そら豆むき、きのこほぐし、おせち料理の意味、ヤングコーン皮むきほか）
・日本の伝統行事（こいのぼり掲揚、七夕、節分、ひなまつり等）、季節の行事（そうめん流し、マラソンがんばろうぜんざい会等）を行った。

♦教職員の資質向上
・処遇改善加算Ⅱ支給要件であるキャリアアップ研修を多数の教員が受講できた。
・県幼児教育センターのアドバイザーによるワークショップ形式の『食育』研修会を実施。
参加できなかった教員には後日、ビデオで同じ研修を行った。
・長崎県主催保育 DX 研修受講。園で2回、保育 DX 推進委員の方より指導を受け、当園にあった DX の取り入れ方を検討した。

♦学院全体を意識した活動の展開
・学院内遠足や日常の散歩、高校寮横の梅の実でジュース作り、芋栽培など自然に恵まれた学院内を有効利用した。
・運動会は高校の体育館、クリスマス会は大学・西山ホールで実施。
・高校生・大学生との交流。（家庭科授業1年生全員、講座制授業保育コースの生徒受け入れ、ひな祭り集会にて箏部による演奏会、大学生の教育実習）

♦園長の絵本の読み語り
・礼拝での話（SDGS 含）、月1回全クラスでの絵本の読み語り。

（イ）　園児募集対策と園児数・学納金等計画

園児数は、2025年 5 月1日現在83名であったが、2026年3月31日現在、3歳児及び5歳児には未充足はあったが、前園児数は95名となった。

〈園児募集対策〉
♦在園児保護者への丁寧な対応
・1、2学期に個人面談。日常でも相談や面談を随時受け付ける。

♦園評価から見出した課題を、来年度の改善目標とする
・園内評価での意見全部に回答。改善ができることについては、実施。難しいことについては、きちんと説明をした。

♦園長だより発行
・月 2 回の発行に努めた。（子育てについて、絵本の紹介ほか）

♦園だより・クラスだより・フォトレターを毎月発行

♦預かり保育の充実（1 号児支援）

♦保護者との連携推進
・役員の負担軽減。全員が揃う会は年2回。
・保護者が学んだり、交流したりできるような行事、園児の様子を見ることが出来る行事実施。
『親子で楽しむ芋畝つくり』『平和ミュージアム見学会』『記念行事参加』『保育参観』
『給食試食会』ひかりの会主催『ボディスクール』
♦地域のニーズにあった子育て支援の充実
おひさまくらぶ＆グリーンクラブ（未就園児親子遊びの集い）
認定こども園移行後は、主幹教諭 2 名を中心に親子遊びの集いに加え「教育・育児相談事業」「育児支援家庭訪問事業」を行うようにしている。
・原則週 3 日の子育て支援活動を行った。親子遊びの集いに加え、園庭開放、園見学会など実施。園見学会は、できるだけ保護者の意向にそった日程や内容とした。

♦ホームページ・SNS による情報提供、広報活動の充実
・ホームページ写真更新

♦満 3 歳児受け入れ強化
・9名定員のところ、10名受け入れた。

（ウ）　施設等整備計画
♦園舎
・園児数に合わせた保育室の仕切壁設置。
・バス乗降口の開閉扉、防犯のため高い扉（2m）に取り換え。
・学期ごとの安全点検をはじめ、日頃から危険個所や不具合がないか、管理を強化した。
・清掃当番を決め、美化に努めた。

♦園庭整備の推進
・プランターなどを利用し夏野菜栽培、チューリップの球根植えなど行った。
・雨あがりに水はけが悪い箇所があったため、改善工事実施。

（エ）　危機管理
子どもの生命、健康を預かっているとの使命感を持ち、学期ごとに全職員で安全点検する。
・AEDを 2 台に増やした。
・バス安全装置の使い方を、学期ごとに園児達と訓練をした。
・午睡時の5分おき、チェック。

・食事時の、誤飲・窒息など、十分気をつけた。他園での事案を共通理解し、当園でのチェック。
給食については、月1回給食会議にて、事故防止や献立について協議。
・月1回の火災避難訓練実施。不審者、地震については年各 2 回実施。
・室内・園庭の安全点検を毎学期始めと終わりに実施した。

(オ)感染症対策
・感染症流行時には、保護者への情報提供、園内・バスの消毒・清掃強化、園児への手洗い・うがい・マスク着用の強化に努めた。

(カ)教職員への配慮(働き方改革)
・年休消化、代休取得などは実行できた。

3.中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

当法人は、2023(令和 5)年度から 2028(令和 10)年度までの 6 ヵ年を期間とする「第Ⅱ期中期計画」を策定し、教職員が一丸となってこれに邁進している。本計画は、2023 年 5 月の理事会決定以降、社会経済情勢の変化等に柔軟に対応するため、2026(R8)年 3 月 27 日に一部変更の理事会承認を経て、さらなるブラッシュアップを図りながら実行に移されている。

創立 150 周年(2031 年度)という大きな節目を見据え、キリスト教主義総合学園としての強みを最大限に活かした持続可能な学園経営のビジョンとして、3 期 16年にわたる長期的な視点から各期のテーマを設定している。

(1)中期計画の達成課題・中心的なテーマ

計画	対象年度	テーマ
第Ⅰ期中期計画	2018 年度～2022 年度	大学再建を中心課題とした経営基盤の構築(経営改善計画)
第Ⅱ期中期計画	2023 年度～2028 年度	キリスト教主義総合学園としての経営力強化と継続的・安定的な財務基盤の構築
第Ⅲ期中期計画	2029 年度～2033 年度	キリスト教主義総合学園の強みを最大限に活かした事業展開

前計画(第Ⅰ期経営改善計画)の計画期間中、当法人は文部科学省の経営指導対象となっていたが、大学の入学定員の確保や高校・認定こども園の定員充足への努力が実を結び、本業のキャッシュフローは黒字を維持するに至った。この成果が認められ、2022(R4)年 3 月をもって文部科学省の経営指導対象から除外されることとなった。

一方で、施設設備の更新等に必要な資金を十分に留保するまでには至っておらず、経常収支差額の早期黒字化とその継続・維持が、第Ⅱ期における最大の課題として引き継がれている。

(2)第Ⅱ期中期計画

①第Ⅱ期中期計画の財務上の達成目標

第Ⅱ期中期計画の達成目標は、第Ⅰ期計画で未達であった目標の早期達成を目指すとともに、

中心的課題である「キリスト教主義総合学園としての経営力強化と継続的・安定的な財務基盤の構築」の実現に向け、以下のように設定する。

◆目標① 経営判断指標：現状 B0 → 最終年度 A3 以上 経常収支差額比率 10％以上
B0: ・教育活動資金収支差額が 3 か年のうち 2 か年以上黒字だが経常収支差額が 2 か年以上赤字の状態
・外部負債を約定通りに返済できる状態
A3 以上: 教育活動資金収支差額・経常収支差額が 3 か年のうち 2 か年以上黒字の状態。
◆目標② 経常収支差額の黒字化とその維持 計画 3 年目以降 黒字化
◆目標③ 受入学生数：全部門における収容定員の確保

②各部門における教学改革と主な取り組み

【大学】魅力ある改組と新たな知の創出

- 学部・学科の名称変更: 社会的ニーズに対応するため、2024（R6）年度より「総合社会学部（旧：現代社会学部）」および「多文化コミュニケーション学科（旧：外国語学科）」へと名称を変更し、定員確保に注力する。
- 留学生日本語別科の開設: 2023（R5）年度より大村サテライトキャンパスに別科（収容定員 80 名）を開設し、質の高い日本語教育と進学支援を展開する。
- 新学部の設置計画: 国の「大学・高専機能強化支援事業」の助成により、2028（R10）年度に社会情報学部（仮称）の開設を目指し計画を進行中であり、総収容定員を 820 名とする計画。
- 学生支援の徹底: 学生の就職・進学率 98%、進級率 98%を目標とし、専任カウンセラーによるアセスメント体制を強化して中退率を 5%以内に抑制する。

【高等学校】進路実績の向上と教育環境の充実

- コースの特色化と学習支援: 1 学年定員 300 名の体制を維持しつつ、放課後校内塾「鎮西 e+」や AI 教材の活用により、国公立大学や有名私立大学への合格実績のさらなる磨き上げを行う。
- 適正な受益者負担への改定: 経済・物価水準の推移を鑑み、健全な教育環境を維持するため 2026（R8）年度より授業料、諸経費、スクールバス維持費の改定（値上げ）を行う。

【認定こども園】地域の子育て伴走型支援

- 新園舎完成とこども園への移行: 2023（R5）年 5 月に安全・安心な新園舎が完成し、「幼稚園型認定こども園」へ移行、乳幼児期からの安定的な受け入れ体制を整備・維持する。
- 地域支援と保育 DX: 2026（R8）年度より本格化する「誰でも通園制度」の安全な実施に向けた体制づくりを行うとともに、保育現場の業務負担を軽減する保育 DX を推進し、保育の質的向上を図る。

③経営基盤の強化・ガバナンス改革

- 外部資金・寄附金の充実: 寄付金目標額 15 億円の達成に向けた具体的な寄附金募集計画を推進する。また、西栄田の遊休地について開発または売却等の有効活用計画を策定する。
- 人件費・経費の抑制: 長期的な視点のもと、給与制度の見直しを行うとともに、効率的な人員

配置計画を策定する。また、国の支援制度等を活用して計画期間中に大学で 5,000 万円、高校で 7,000 万円（支出半減）の奨学費支出を削減する。

- 私立学校法改正への対応: 2025（R7）年 4 月施行の改正私立学校法に対応し、理事会・評議員会をはじめとするガバナンス体制の抜本的見直し、本部機能の強化、意思決定プロセスの透明化を徹底する。

④第Ⅱ期中期計画　財務目標の進捗状況

目標①　進捗状況　経営判断指標の推移

2023 年度（実績）	2024 年度（実績）	2025 年度計画 3 年目	2026 年度（目標）	2027 年度（目標）	2028 年度計画最終年度
B0	B0	B0	A3	A3	A3

目標②　進捗状況　経常収支差額の推移

（単位：千円）

2023 年度（実績）	2024 年度（実績）	2025 年度計画 3 年目	2026 年度（計画）	2027 年度（計画）	2028 年度計画最終年度
△ 12,075	△ 75,828	28,474	黒　字	黒　字	経常収支差額比率 10%以上

目標③　進捗状況　収容定員充足率の推移（5 月 1 日現在）

（単位：%）

	2023 年度（実績）	2024 年度（実績）	2025 年度計画 3 年目	2026 年度（実績）	2027 年度（目標）	2028 年度計画最終年度
大　学	107.1	112.1	115.5	111.0	100%以上	100%以上
高等学校	106.8	102.3	97.1	100.2	100%以上	100%以上
認定こども園	66.0	74.9	81.4	83.3	100%以上	100%以上

Ⅲ 財務の概要

1.2025年度決算の概要

本報告書は、2025（令和 7）年度決算に基づく財務状況とセグメント別の実績、および中長期的な経営課題を整理したものです。本年度は、学校法人会計基準の改正に伴う新しい引当金計上基準の適用初年度にあたり、財務健全化と中期計画の目標達成状況を検証する重要な決算となりました。

（1） 決算概要と中期計画の達成状況

2025（令和 7）年度は、当法人の「第Ⅱ期中期計画」の 3 年目にあたります。当初からの最重要目標であった「経常収支差額の黒字化」について、当年度は 28,474 千円の黒字（前年度△75,828 千円）を計上し、目標を達成することができました。本業の現金創出力を示す教育活動収支差額も、31,233 千円の黒字（前年度△72,551 千円）へと回復を果たしています。

一方で、学校法人会計基準の改正に伴う「賞与引当金」および「役員退職給与引当金」の計上により、特別収支差額は△65,394 千円となりました。このため、基本金組入前当年度収支差額は△36,920 千円、最終的な当年度収支差額は△214,349 千円となっています。

（2） 貸借対照表

2025（令和 7）年度末の総資産は 3,597,618 千円（前年度末 3,630,271 千円）となり、32,653 千円減少しました。

有形固定資産は 2,939,278 千円であり、主な変動として高校体育館床張替工事（33,869 千円）や、大学新学部の施設整備に向けた建設仮勘定（当期増額 55,858 千円、期末残高 57,673 千円）が計上されています。流動資産は現金預金 555,220 千円等により 607,684 千円となりました。

一方、負債合計は 1,043,780 千円です。日本私立学校振興共済事業団等からの長期借入金 226,620 千円のほか、学校法人会計基準の改正に基づき「賞与引当金」（53,881 千円）および「役員退職給与引当金」（1,888 千円）を新たに計上しています。

純資産合計は基本金（6,269,090 千円）の増加と繰越収支差額（△3,715,251 千円）を反映し、2,553,839 千円（自己資本比率 71.0％）となっています。

当法人の実質的な支払能力と財務安全性を測る「運用資産と外部負債の関係」を算出しますと、以下の通りとなり、対前年比 45,098 千円の改善となります。

運用資産		外部負債		差額
595,220 千円	－	502,001 千円	＝	93,219 千円

※ 運用資産計：現金預金 555,220 千円＋施設設備特定資産 40,000 千円

※ 外部負債計：長期借入金 226,620 千円＋長期未払金 19,818 千円＋短期借入金 218,330 千円＋未払金 37,233 千円

（3）　事業活動収支計算書

当年度の教育活動収入は 2,477,704 千円となり、前年度（2,341,560 千円）から 136,144 千円（約 5.8%）の増収となりました。大学部門の堅調な在籍者数に伴う学納金の維持や、補助金収入の増加が主な要因です。

教育活動支出は 2,446,471 千円となり、前年度比での増加を 32,360 千円（約 1.3%）に抑制しました 。人件費は 1,236,570 千円（構成比 50.5%）と最大を占めており、教育研究経費は 854,757 千円、管理経費は 355,143 千円となっています。（別表 1 参照）

（4）　資金収支計算書および活動区分別資金収支計算書

当年度の支払資金の増減額は△1,876 千円（前年度は 115,855 千円減少）と資金の流出に歯止めがかかり、翌年度繰越支払資金は 555,220 千円（前年度繰越支払資金 557,096 千円）を確保しています。

活動区分別資金収支計算書では、本業の現金創出力を示す「教育活動資金収支差額」が 224,299 千円の黒字となりました。（別表 2 参照）

（5）　学校部門別の財務状況（別表 3 参照）

①　大学

学生募集が好調を維持しており、在籍者数は前年度の 650 名から当年度末時点で 670 名に拡大しました。収容定員 580 名に対する定員充足率は 115.5%に達しています 。この高い充足率が、学納金（728,805 千円）および経常費補助金（389,218 千円）の安定的獲得を支えており、経常収支差額も 68,244 千円の黒字と非常に良好です 。

②　認定こども園・高等学校

認定こども園及び高等学校では、教育活動収入 1,286,864 千円に対して教育活動支出が 1,311,957 千円となり、25,093 千円の支出超過、経常収支差額は 24,813 千円の支出超過となります。

不振の要因は主に高等学校の定員未充足に伴う校納金（528,004 千円）の減少と、人件費（568,674 千円）が高止まりしている点にあります。固定費構造の抜本的な見直しのため、構造的変革が課題となっています。

また、認定こども園では、「施設型給付費（124,268 千円）」を安定的かつ計画的に獲得できており、これを源泉として処遇改善を実施し、手厚く質の高い保育環境が維持されているものの、収支均衡への更なる努力が必要となっています。

③　法人本部

大学の新学部開設に向けた国の補助金（大学高専機能強化支援事業）と施設設備整備計画に要する経費が計上されています。

（6）　経営判断指標による自己診断

現在の当法人の財務状況について、私学事業団の「経営判断指標」により、自己診断した結果は以下の通りとなります。

当年度決算時点での財務状況：経営判断指標「B0」

2023 年度	2024 年度	2025 年度
B0	B0	B0

イエローゾーン予備的段階。教育活動資金収支差額が 3 か年のうち 2 か年以上黒字だが経常収支差額が 2 か年以上赤字の状態。取得価額ベースでの取替更新ができない状態。

1. （参考）経営判断指標による自己診断

経営判断指標	自己診断結果
「教育活動資金収支差額が3か年のうち2か年以上赤字か」	【教育活動資金収支差額の推移】（単位:千円） 2023 年度：128,072 2024 年度：68,263 2025 年度：224,299

↓いいえ

「外部負債を約定年数又は 10 年以内に返済できない」	外部負債（502,001 千円）÷教育活動資金収支差額（224,299 千円）＝2.24 年

↓いいえ

修正前受金保有率 100％未満	修正前受金保有率＝運用資産÷前受け金 運用資産 595,220 千円 ÷ 前受金 125,610 千円 ＝473.9％

↓いいえ

「経常収支差額が3か年のうち2か年以上赤字か」	【経常収支差額の推移】 2023 年度：△ 12,075 2024 年度：△ 75,828 2025 年度：28,474

↓はい

当年度決算時点での財務状況：経営判断指標「B0」

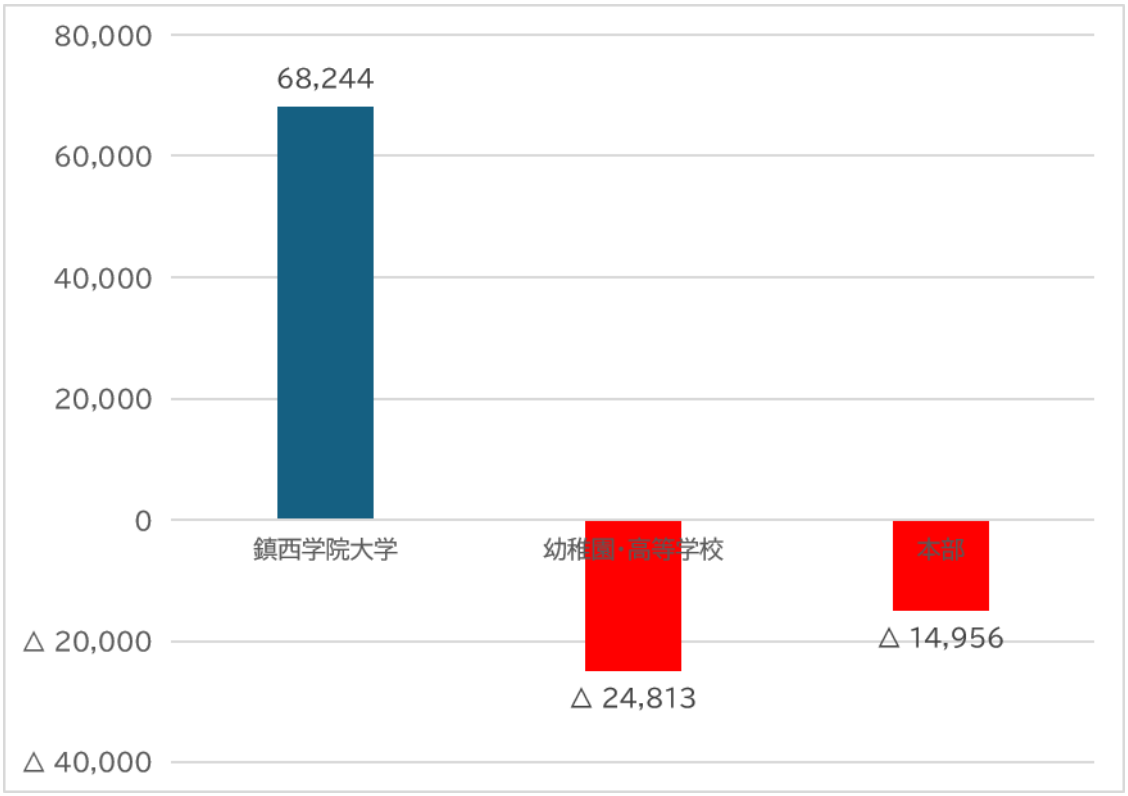
別表 1 【事業活動収支の概要(対前年度増減・予算差異)】　　(単位:千円)

科目	2024 年度 決算	2025 年度 予算 A	2025 年度 決算 B	対前年増減	予算差異 B-A
教育活動収入計	2,341,560	2,467,983	2,477,704	136,144	9,721
学生生徒等納付金	1,265,130	1,262,491	1,262,723	△ 2,407	232
手数料	25,263	24,751	24,844	△ 419	93
寄付金	20,147	65,156	67,048	46,901	1,892
経常費等補助金	752,289	859,067	857,555	105,266	△ 1,512
付随事業収入	191,589	189,596	193,763	2,174	4,167
雑収入	87,142	66,922	71,770	△ 15,372	4,848
教育活動支出計	2,414,111	2,525,440	2,446,471	32,360	△ 78,969
人件費	1,227,526	1,304,586	1,236,570	9,044	△ 68,016
教育研究経費	792,209	860,859	854,757	62,548	△ 6,102
管理経費	393,375	359,995	355,143	△ 38,232	△ 4,852
教育活動収支差額	△ 72,551	△ 57,457	31,233	103,784	88,690
経常収支差額	△ 75,828	△ 60,197	28,474	104,302	88,671
特別収支差額	6,484	2,432	△ 65,394	△ 71,878	△ 67,826
当年度収支差額	△ 149,400	△ 238,690	△ 214,349	△64,949	24,341

別表2 【活動区分資金収支の概要(主な資金変動要因)】　　(単位:千円)

活動区分	区分別資金収支差額	主な資金変動要因
教育活動資金収支	224,299	授業料等納付金および補助金の安定的な収納
施設整備等資金収支	△ 179,920	高校体育館増床工事、大学新学部施設設計管理料等の支出
その他の活動資金収支	△ 46,255	長期借入金の返済および短期借入金の更新等
支払資金純増減額	△ 1,876	前年度の大幅流出からキャッシュ・フローが大幅に改善

別表３【経常収支額(セグメント別)】　　(単位:千円)



2. 5か年の経年比較

(1) 貸借対照表

(単位　円)

資産の部					
科目＼年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
固定資産	3,177,401,543	2,974,974,802	3,057,113,043	2,986,061,662	2,989,934,189
流動資産	725,809,434	702,978,525	738,742,337	644,209,564	607,683,999
資産の部合計	3,903,210,977	3,677,953,327	3,795,855,380	3,630,271,226	3,597,618,188
固定負債	473,369,458	599,003,919	577,110,633	550,295,268	532,322,515
流動負債	963,596,836	622,657,452	558,641,772	489,217,295	511,457,094
負債の部合計	1,436,966,294	1,221,661,371	1,135,752,405	1,039,512,563	1,043,779,609
基本金	5,682,659,508	5,714,700,084	6,011,605,733	6,091,660,936	6,269,089,935
繰越収支差額	△ 3,216,414,825	△ 3,258,408,128	△ 3,351,502,758	△ 3,500,902,273	△ 3,715,251,356
純資産の部合計	2,466,244,683	2,456,291,956	2,660,102,975	2,590,758,663	2,553,838,579
負債及び純資産の部合計	3,903,210,977	3,677,953,327	3,795,855,380	3,630,271,226	3,597,618,188

（2）事業活動収支計算書

（単位：円）

科目＼年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
学生生徒等納付金収入	(1,063,778,400)	(1,260,996,600)	(1,242,869,696)	(1,265,130,280)	(1,262,722,900)
手数料収入	(24,171,820)	(24,333,050)	(26,189,050)	(25,262,590)	(24,844,340)
寄付金収入	(30,811,919)	(5,620,802)	(16,827,948)	(21,400,007)	(68,135,440)
補助金収入	(1,018,418,532)	(688,456,188)	(927,710,968)	(758,701,861)	(860,083,126)
資産売却収入	(262,900)	(0)	(164,890)	(786,200)	(325,780)
付随事業・収益事業収入	(199,095,173)	(211,631,497)	(196,188,500)	(191,589,357)	(193,763,413)
受取利息・配当金収入	(4,119)	(4,679)	(3,896)	(91,001)	(298,587)
雑収入	(50,667,917)	(26,095,105)	(68,649,747)	(84,098,594)	(66,918,637)
借入金等収入	(851,040,000)	(450,000,000)	(360,120,000)	(510,000,000)	(270,000,000)
前受金収入	(200,024,190)	(136,734,790)	(138,712,480)	(133,880,480)	(125,610,000)
その他の収入	(1,027,260,371)	(1,258,743,001)	(836,046,981)	(732,797,257)	(738,607,445)
資金収入調整勘定	(△ 458,661,437)	(△ 225,141,091)	(△ 194,412,576)	(△ 222,393,797)	(△ 181,790,996)
前年度繰越支払資金	(456,218,630)	(445,582,645)	(669,538,712)	(672,951,207)	(557,096,124)
収入の部合計	4,463,092,534	4,283,057,266	4,288,610,292	4,174,295,037	3,986,614,796
人件費支出	(1,021,686,721)	(1,045,778,883)	(1,127,675,188)	(1,220,369,730)	(1,233,091,636)
教育研究経費支出	(588,707,243)	(683,251,189)	(645,068,391)	(656,215,999)	(712,441,772)
管理経費支出	(290,720,415)	(336,012,140)	(322,573,944)	(357,109,419)	(323,612,544)
借入金等利息支出	(8,447,597)	(4,937,524)	(5,685,798)	(3,367,939)	(3,057,158)
借入金等返済支出	(581,840,000)	(558,880,000)	(430,974,000)	(588,330,000)	(308,330,000)
施設関係支出	(576,773,217)	(161,054,603)	(299,153,375)	(39,607,439)	(138,944,883)
設備関係支出	(64,910,455)	(24,789,156)	(28,745,051)	(59,886,634)	(42,329,838)
資産運用支出	(290,000,000)	(20,000,000)	(0)	(0)	(0)
その他の支出	(705,471,371)	(810,094,809)	(795,888,434)	(718,908,275)	(700,229,891)
資金支出調整勘定	(△ 111,047,130)	(△ 31,279,750)	(△ 40,105,096)	(△ 26,596,522)	(△ 30,643,024)
翌年度繰越支払資金	(445,582,645)	(669,538,712)	(672,951,207)	(557,096,124)	(555,220,098)
支出の部合計	4,463,092,534	4,283,057,266	4,288,610,292	4,174,295,037	3,986,614,796

（3）資金収支計算書および活動区分資金収支計算書

（単位：円）

科目＼年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
学生生徒等納付金収入	(1,063,778,400)	(1,260,996,600)	(1,242,869,696)	(1,265,130,280)	(1,262,722,900)
手数料収入	(24,171,820)	(24,333,050)	(26,189,050)	(25,262,590)	(24,844,340)
寄付金収入	(30,811,919)	(5,620,802)	(16,827,948)	(21,400,007)	(68,135,440)
補助金収入	(1,018,418,532)	(688,456,188)	(927,710,968)	(758,701,861)	(860,083,126)
資産売却収入	(262,900)	(0)	(164,890)	(786,200)	(325,780)
付随事業・収益事業収入	(199,095,173)	(211,631,497)	(196,188,500)	(191,589,357)	(193,763,413)
受取利息・配当金収入	(4,119)	(4,679)	(3,896)	(91,001)	(298,587)
雑収入	(50,667,917)	(26,095,105)	(68,649,747)	(84,098,594)	(66,918,637)
借入金等収入	(851,040,000)	(450,000,000)	(360,120,000)	(510,000,000)	(270,000,000)
前受金収入	(200,024,190)	(136,734,790)	(138,712,480)	(133,880,480)	(125,610,000)
その他の収入	(1,027,260,371)	(1,258,743,001)	(836,046,981)	(732,797,257)	(738,607,445)
資金収入調整勘定	(△ 458,661,437)	(△ 225,141,091)	(△ 194,412,576)	(△ 222,393,797)	(△ 181,790,996)
前年度繰越支払資金	(456,218,630)	(445,582,645)	(669,538,712)	(672,951,207)	(557,096,124)
収入の部合計	4,463,092,534	4,283,057,266	4,288,610,292	4,174,295,037	3,986,614,796
人件費支出	(1,021,686,721)	(1,045,778,883)	(1,127,675,188)	(1,220,369,730)	(1,233,091,636)
教育研究経費支出	(588,707,243)	(683,251,189)	(645,068,391)	(656,215,999)	(712,441,772)
管理経費支出	(290,720,415)	(336,012,140)	(322,573,944)	(357,109,419)	(323,612,544)
借入金等利息支出	(8,447,597)	(4,937,524)	(5,685,798)	(3,367,939)	(3,057,158)
借入金等返済支出	(581,840,000)	(558,880,000)	(430,974,000)	(588,330,000)	(308,330,000)
施設関係支出	(576,773,217)	(161,054,603)	(299,153,375)	(39,607,439)	(138,944,883)
設備関係支出	(64,910,455)	(24,789,156)	(28,745,051)	(59,886,634)	(42,329,838)
資産運用支出	(290,000,000)	(20,000,000)	(0)	(0)	(0)
その他の支出	(705,471,371)	(810,094,809)	(795,888,434)	(718,908,275)	(700,229,891)
資金支出調整勘定	(△ 111,047,130)	(△ 31,279,750)	(△ 40,105,096)	(△ 26,596,522)	(△ 30,643,024)
翌年度繰越支払資金	(445,582,645)	(669,538,712)	(672,951,207)	(557,096,124)	(555,220,098)
支出の部合計	4,463,092,534	4,283,057,266	4,288,610,292	4,174,295,037	3,986,614,796

（単位　円）

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	2,026,686,229	2,205,826,242	2,261,831,909	2,338,489,689	2,472,731,856
教育活動資金支出計	1,901,057,409	2,065,042,212	2,095,317,523	2,233,450,085	2,269,145,952
差引	125,628,820	140,784,030	166,514,386	105,039,604	203,585,904
調整勘定等	37,983,470	△ 44,230,914	△ 38,442,319	△ 36,776,123	20,713,248
教育活動資金収支差額	163,612,290	96,553,116	128,072,067	68,263,481	224,299,152
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	650,520,432	271,307,000	296,768,890	8,479,200	4,061,780
施設整備等活動資金支出計	931,683,672	205,843,759	327,898,426	99,494,073	181,274,721
差引	△ 281,163,240	65,463,241	△ 31,129,536	△ 91,014,873	△ 177,212,941
調整勘定等	△ 171,454,451	214,709,091	△ 2,607,080	△ 19,011,080	△ 2,706,880
施設整備等活動資金収支差額	△ 452,617,691	280,172,332	△ 33,736,616	△ 110,025,953	△ 179,919,821
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	△ 289,005,401	376,725,448	94,335,451	△ 41,762,472	44,379,331
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	1,508,231,568	1,174,388,243	1,092,055,576	1,185,210,472	925,224,715
その他の活動資金支出計	1,229,934,658	1,327,262,055	1,183,248,101	1,259,553,357	971,176,784
差引	278,296,910	△ 152,873,812	△ 91,192,525	△ 74,342,885	△ 45,952,069
調整勘定等	72,506	104,431	269,569	250,274	△ 303,288
その他の活動資金収支差額	278,369,416	△ 152,769,381	△ 90,922,956	△ 74,092,611	△ 46,255,357
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	△ 10,635,985	223,956,067	3,412,495	△ 115,855,083	△ 1,876,026
前年度繰越支払資金	456,218,630	445,582,645	669,538,712	672,951,207	557,096,124
翌年度繰越支払資金	445,582,645	669,538,712	672,951,207	557,096,124	555,220,098

（4） 財務比率の経年比較

経年比較財務比率表（令和3年度～令和7年度）

項 目	計算式	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
① 流動比率	流動資産/流動負債	75.3%	112.9%	132.2%	131.7%	118.8%
② 総負債比率	総負債/総資産	36.8%	33.2%	29.9%	28.6%	29.0%
③ 前受金保有率	現金預金/前受金	222.8%	489.7%	485.1%	416.1%	442.0%
④ 基本金比率	基本金/基本金要組入額	96.3%	94.3%	95.0%	95.5%	96.0%
⑤ 積立率	運用資産/要積立額	25.0%	23.8%	20.0%	16.8%	16.0%
⑥ 自己資本比率	純資産/総資産	63.2%	66.8%	70.1%	71.4%	71.0%

項 目	計算式	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
① 人件費率	人件費/経常収入	51.1%	47.9%	50.3%	52.4%	49.9%
② 教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	33.7%	36.2%	34.3%	33.8%	34.5%
③ 管理経費比率	管理経費/経常収入	15.7%	16.6%	15.7%	16.8%	14.3%
④ 事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入	14.3%	△0.4%	8.2%	△3.0%	△1.5%
⑤ 学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	52.4%	57.1%	54.9%	54.0%	51.0%
⑥ 経常収支差額比率	経常収支差額/経常収支	△0.9%	△0.9%	△0.5%	△3.2%	1.1%

項 目	計算式	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額/教育活動収入計	8.1%	4.4%	5.7%	2.9%	9.1%

3.その他

（1） 資産運用の状況

・資産運用は行っていない。

（2） 学校債の状況

・学校債の発行はしていない。

（3） 寄付金の状況

（単位：円）

項 目	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
寄 付 額	31,726,498	7,739,103	17,173,037	21,488,052	68,366,086

（4） 補助金の状況

- 少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援
  ・メニュー1（キラリと光る教育力）
  ・事 業 名： 文系データサイエンス実践力養成プロジェクト
  ・採択年度： 令和 6 年度
  ・助成期間： 令和 6 年度～令和 10 年度（5 年間）
  ・補助金額： 令和 6 年度 17,000,000 円
  令和 7 年度 17,000,000 円
  ・概 要： 本事業は、「社会福祉学」「経済政策学」「国際交流」3 つの学位プログラムの構造転換により、Society5.0 で活躍する人材に不可欠なデータサイエンス・生成 AI を活用して課題を解決するための実践的な能力を育成するとともに、教

学マネジメント、多様な学生の就学支援、キャリア形成支援等、教育研究活動の全般にわたり地域・産業界が協力・参画する体制を構築することにより、持続可能な大学経営改革に取り組む。

・メニュー2（複数大学等の連携による機能共同化・高度化を通じた経営改革支援）
・事 業 名： 西九州ウェルネス・アライアンス：デジタル共通基盤を核とした福祉専門職教育の共同化と大学経営改革
・採択年度： 令和 7 年度
・助成期間： 令和 7 年度～令和 10 年度（4 年間）
・補助金額： 令和 7 年度 7,000,000 円
・概　　要： 全国を上回るペースで超高齢社会が進行する長崎・佐賀両県において、地域社会の持続可能性は喫緊の課題である。本アライアンスは、この課題解決に貢献し、自らもレジリエントな経営体質へと転換するため、3大学が強固な連携を構築するものである。本事業は、①「西九州アライアンス・デジタル共通基盤」構築による経営効率化、②創出された資源の3大学共通の社会福祉士・精神保健福祉士養成課程における連携強化への再投資、という二つの改革を両輪として進める。共通シラバス開発、共同国家試験対策、多職種連携教育（IPE）を深化させ、授業履修や単位取得の互換性を高める。 こうした取り組みによって、デジタル技能向上を通した未来志向型の広い視野を有し、地域が求める福祉分野の問題解決に挑み得る高度専門人材を育成する。将来的には共同教育課程の開設や機能統合を視野に入れ、持続可能な大学経営基盤を確立することを目的とする。

- ・大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
・選 定 年 度： 令和 6 年度
・交付決定額： 957,260,000 円（総額）
・助 成 期 間： 令和 6 年度～令和 13 年度（8 年間）
・概　　要： 令和 10 年度に新学部を設置予定。地域社会においては、Society5.0 の実現に向け、デジタル技術を駆使した新たな社会事業や地域ビジネスの創出への期待は大きいが、現状では、専門的なデジタル知識・能力を有し、総合的な視点から DX を推進する人材が不足している状況にある。この地域ギャップを埋めるには、DX によるイノベーティブな取組みにおいて、目的設定から導入、導入後の効果検証までを、地域の様々な関係者をコーディネートしながら一気通貫して推進する人材＝「ビジネスアーキテクト」の育成が不可欠であり、地域の Society5.0 実現の最重要課題となっている。
本学が構想する社会情報学部（仮称）は、九州西部地域における産学官連携のもと、デジタル技術を駆使し、「総合知」の活用とオープンイノベーションの手法により、新たなビジネスの創出やサービスの社会実装を通して、地域社会の経済発展と社会的課題解決の両立に資する人材を養成する。

（5）収益事業の状況

・収益事業は行っていない。
なお、収益事業会社立ち上げに向けて課題等を整理中。

4.学校法人の業務の適正を確保するための体制（内部統制システム）の整備及び運用状況の概要

（1）関係する決議の概要

当法人では、改正私立学校法の施行に伴い、2025（令和 7）年 3 月の理事会において、「内部統制システム構築に関する基本方針」を定めております。本方針に則って、法令順守の徹底、リスク管理体制の強化及び監事監査の実効性向上に向けた各種規程の整備・見直しを進めております。

当期においては、内部統制システムの基盤の整備として、2025（令和 6）年 12 月 19 日開催の理事会において以下の①から③、2026（令和7）年 3 月 27 日開催の理事会において④について、決議を行いました。

① 業務執行理事及び代表業務執行理事の選定について
法人の業務執行体制を強化し、意思決定の迅速化と効率的な運営を図るため、法人事務局長を業務執行理事および代表業務執行理事として選任しました。

② 学校法人鎮西学院 理事職務権限規程の制定
業務を執行する各理事（学長、校長、園長、法人事務局長）の担当業務や職務権限を明確化し、適切かつ迅速な事業運営を推進するための規程を制定しました。

③ 学校法人鎮西学院 内部監査規程の制定
業務の適正性および効率性を確保し、法人の健全な発展と社会的信頼を保持することを目的として、各部署の職務執行状況等に対する内部監査規程を定めました。

④ 鎮西学院大学 研究活動不正防止規程の見直しについて
配分機関への報告義務や調査対応のルールを厳格化し、不正に対する調査・報告体制を強化するために必要な規程の改正を行いました。

（2）体制整備及び運用状況の概要

① 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

理事会や評議員会などの重要会議の議事録、その他理事の職務執行に係る情報については、寄附行為および「文書管理規程」に基づき、適切に作成、保存、および管理しています。

② 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

リスク管理に関する体制および「リスク管理規程」を整備し、役割、権限、リスクの評価方法、対応方法等を明確にしています。

事業活動に関するリスクは、法令および法人の規程等に基づき、職務執行部署が自律的に管理することを基本とし、内部監査部門がリスクの統括管理を一元的に行い、重要リスクが適切に管理されているかを適宜監査し、その結果を、業務を執行する理事および理事会に報告することとしています。

経営に重大な影響を及ぼすおそれのある重要リスクについては、理事会で審議し、必要に応じて対策等を決定することとしています。

災害や事故などの緊急時に備えて対応組織や情報連絡体制等の規程を定め、継続的な教育と定期的な訓練を実施しております。

個人情報の保護については、「個人情報保護に関する諸規程」に基づき、適切な管理を行っています。

研究活動における研究費の適正経理、研究不正の防止、知的財産の保護を確保するため、「研究活動不正行為防止規程」等を定めて必要な措置を講じています。

以上により、理事会は毎年、業務執行に関するリスクを特定・見直すとともに、リスク管理体制についても見直しを行うこととしてます。

③ 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

「理事職務権限規程」に基づき、業務を執行する理事の担当業務を明確化し、事業運営の適切かつ迅速な推進を図るとともに、職務分掌と決裁権限を明確にすることで、理事や職員等の職務執行の適正性を確保し、機動的な業務執行と有効性・効率性の向上に努めています。

④ 職員の職務の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制

職員及び理事が法令や寄附行為、規程を遵守し、確固たる倫理観をもって事業活動等を行う組織風土を高めるために、「コンプライアンス推進規程」を定め、すべての役職員のコンプライアンス意識の醸成と定着を推進するため、不正防止等に関わる教育および啓発活動を継続して実施し、周知徹底を図ることとしてます。

法人内外から匿名で相談できる通報窓口を常設し、不正の未然防止や速やかな調査と是正を行う体制を推進します（通報等を理由とした不利益な取扱いは行われません）。

内部監査部門は、職員等の職務執行状況についてコンプライアンスの観点から監査し、 その結果を理事会に報告することとしています。

法令や寄附行為違反等の行為が発見された場合には、「コンプライアンス推進規程」に従い理事会において迅速に状況を把握し、外部専門家と協力しながら適正に対応することとしています。

⑤ 監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制等

監事は「監事監査規程」に基づき、理事会等の重要会議への出席や重要書類の閲覧・審査などを通して、適法性や妥当性に関する監査等を公平不偏の立場で行っています。

監事の職務を補助するため、監事の求めに応じて独立性を有する補助職員を配置し、補助職員は監事の指揮命令下で業務を行い、その異動や人事評価等については監事の意見が尊重されます。

理事や職員等は、法人に著しい損害を与えるおそれのある事実や法令・規程等に反する行為等を発見したときは、直ちに理事長、業務執行理事および監事に報告することとしてます。理事および職員等は、職務執行状況等について監事から報告を求められた場合には、速やかにこれに応じます。

理事長は定期的に監事と会合を持つなどして意見交換を図り、相互認識を深めています。

監事から職務執行に係る費用の前払いや償還等の請求があった場合には、速やかに相当額を支払います。

附属明細書

2025(令和 7)年度　行事等実績報告　　鎮西学院本部

月	日	曜日	行　　事　　等
4	1	火	採用･昇格者辞令交付式
	2	水	公認会計士監査
	11	金	公認会計士監査
	21	月	公認会計士監査(～22 日)
5	2	金	臨時理事会
	8	木	公認会計士監査(～9 日)
	13	火	物故職員記念礼拝･評議員会
	14	水	監事監査
	22	木	学院運営協議会
	23	金	理事会･評議員会
6	3	火	公認会計士監査(～4 日)
	6	金	臨時理事会
	11	水	公認会計士監査(～12 日)
	27	金	理事会･評議員会
7	25	金	評議員会
8	4	月	理事会･評議員会
	9	土	平和記念式典
9	25	木	学院運営協議会
	26	金	理事会
10	22	水	学院創立記念礼拝
	23	木	学院創立記念日
11	12	水	財務説明会(全教職員対象)
12	4	木	公認会計士監査(～5 日)
	19	金	理事会
1	1	月	元旦礼拝
	22	木	公認会計士監査
3	17	火	公認会計士監査(～18 日)
	19	木	学院運営協議会
	27	金	評議員会･理事会
	31	火	退職者辞令交付式

月	日	曜日	行事等
4月	1	火	入学式
	2	水	新入生オリエンテーション（～3日）
	4	金	ウェルカムビブリオ（図書館）
5月	14	木	チームビブリオ（図書館）
	17	土	鎮西学院高校3年生保護者対象説明会
	29	木	学生総会
	31	土	にじフェス
6月	5	木	鎮西学院高校3学年教員対象説明会
	9	月	高大連携プログラム（鎮西学院高校2年生対象）
	11	水	カジュアルビブリオ（図書館）
	12	木	大学見学（島原翔南高校）
	16	月	大学見学（諫早特別支援学校）
	24	火	県央地区教員対象入試説明会
	27	金	佐世保地区教員対象入試説明会
	28	土	まちづくり研究室公開講座①
7月	4	金	長崎地区教員対象入試説明会
	5	土	ウエスレヤン福祉学会セミナー
	17	木	前期授業評価（～7/30）
	19	土	第1回オープンキャンパス
	30	水	留学生終了式
	31	木	夏期休暇始（～9/24）、集中講義（～8/30）
8月	2	土	まちづくり研究室公開講座②
	3	日	第2回オープンキャンパス
	4	月	インターンシップ開始
	9	土	平和祈念礼拝
	23	土	第3回オープンキャンパス
	29	金	全学SD研修会
9月	5	金	第52回九州地区学生指導研究集会
	20	土	第4回オープンキャンパス
	25	木	防災避難訓練・後期オリエンテーション（～26日）
	27	土	総合型選抜Ⅰ期入試、社会人キャリア形成プログラム「生成AIの使い方」（QSP事業公開講座）
10月	15	水	大学見学（島原農業高校）
	18	土	まちづくり研究室公開講座③
	23	木	学院創立記念日
	25	土	2ドル祭
11月	8	土	留学生入試A日程
	10	月	高大連携プログラム（鎮西学院高校1年生対象）
	13	木	クリスマスツリー点灯式
	15	土	前期学校推薦型入試、前期学院内入試
	22	土	第27回福祉教育セミナー
12月	5	金	総合型選抜Ⅱ期入試
	8	月	高大連携プログラム（鎮西学院高校2年生対象）
	12	金	後期学校推薦型入試、福祉実習報告会
	17	水	第14回長崎県高校生福祉体験発表会、大学見学（西彼農業高校）
	20	土	まちづくり研究室公開講座④
	22	月	大学見学（島原商業高校）
	23	火	教育実習報告会、冬期休暇始（～1/4）
1月	20	火	総合型選抜Ⅲ期入試、後期学院内入試
	23	金	後期授業評価（～2/5）
	29	木	留学生終了式
2月	6	金	春期休暇始（～3/25）、集中講義（～2/26）
	7	土	一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜A日程入試
	14	土	まちづくり研究室公開講座⑤
	20	金	全学SD研修会
	21	土	日本ソーシャルワーク教育学校連盟九州ブロック研究大会
3月	4	水	留学生日本語別科修了式
	12	木	総合型選抜Ⅳ期入試、一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜B日程入試
	14	土	卒業証書・学位記授与式
	20	金	春のオープンキャンパス、第8回ウエスレヤンカップ女子バレーボール大会
	24	火	一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜C日程入試、留学生入試C日程
	26	木	在学生オリエンテーション（～27日）
	30	月	南島原ひまわり観光協会との包括連携協定調印式

2025年度(令和7年度) 行事等実績報告　　鎮西学院高等学校

月	日	曜	行事等
4	1	火	全教職員会議にて学校長による事業計画発表、健康診断
	7	月	新入生ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ(～5日)(4日ｽﾀﾃﾞｨｻﾎﾟｰﾄ・5日物品購入)
	8	火	始業式・入学式(292名)
	25	金	体育祭
	30	水	身体測定(全学年)
5	3	土	吹奏楽部 定期演奏会(長崎ﾌﾞﾘｯｸﾎｰﾙ)
	4	日	吹奏楽部 定期演奏会(諫早文化会館)
	7	水	前期二者面談ウィーク(～14日)
	8	木	特別礼拝(門田 純牧師:諫早キリスト教会)
	9	金	母の日カーネーション販売
	13	火	物故職員記念礼拝(神田道隆牧師:鎮西学院大学宗教主事)・墓参
	17	土	PTA総会・3学年保護者対象進路説明会(304名)
	19	月	防災避難訓練
			上海ｱﾘｰﾃﾊﾞｲﾘﾝｶﾞﾙｽｸｰﾙ生徒14名・教師2名来校(～23)
	21	水	教育実習生4名受入れ(～6/10)
			GEコース イングリッシュキャンプ(～23)
	28	水	県高校総体選手激励会
	30	金	県高校総体総合開会式(佐世保)
5	31	土	ｻｯｶｰ女子(14大会連続14回目)優勝・卓球男子(6大会連続37回目)優勝
			卓球女子(5年連続35回目)優勝・ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ男子ベスト8・
			バレーボール女子ベスト8
6	9	月	2年生対象高大連携プログラム
			教育実習生による講話
	12	木	宗教講話Ⅱ(大村教会 稲葉義也牧師 長崎インターナショナル教会
			柚之原寛史牧師 嬉野キリスト教会 藤野慶一郎牧師)・教師対象聖書研究会
	14	土	陸上高総体北九州大会 5000m第5位3D内田涼太
			3000m障害第6位3D藤崎澄恵 1500m第6位2C百田好希
			以上3名インターハイ出場
	25	水	全校生徒対象SNS教育講話(長崎県警ｽｸｰﾙｻﾎﾟｰﾀｰ 廣瀬昌和先生)
7	1	火	1年生修業会 ホテル南風楼 ～3日 講師:長崎エルサレム教会 木原ヨハネ先生
			3年生学年プログラム(学年レクリエーション)
	2	水	2年生学年プログラム(学年レクリエーション)
	10	木	三者面談(午前中授業 ～18日)
	12	土	2年G組ﾃﾈｼｰｳｴｽﾚﾔﾝ大学ｻﾏｰｽｸｰﾙ(生徒20名・教師2名) ～7/28
	12	土	第1回オープンキャンパス(1316名参加)
	18	金	1学期終業式
	20	日	県吹奏楽ｺﾝｸｰﾙ金賞(30大会連続30回目)・県代表へ推薦
	24	木	全国高総体(男子陸上 ～7/29) 5000M / 3000MSC / 1500M
			全国総文祭(箏曲同好会 ～7/27)
	26	土	全国高総体(女子バスケット ～8/1)
	28	月	部活動体験型ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽ(778名参加)～31日
	30	水	全国高総体(男女卓球団体 ～8/4)
8	1	金	夏期学習合宿(～7日／いこいの村長崎)
	9	土	平和祈念礼拝式典・教師修業会(福岡女学院看護大学 金田俊郎先生)
	26	月	2学期始業式・校内一斉模試
	30	土	ハレルヤ祭
9	4	木	HPVワクチン校内集団接種
	10	水	平和学習会(講師:大澤心孝さん 新高77回生 大分大学医学部看護学科1年)
	13	金	中学校教師対象入試説明会(55校55名参加)
	16	火	後期二者面談ウィーク(～24日)・SAGA国民ｽﾎﾟｰﾂ大会ﾋﾞｰﾁﾊﾞﾚｰ優勝
	17	水	塾対象入試説明会(42校62名参加)
	23	火	川崎奈賀子杯卓球研修会
10	3	金	全校生徒対象生徒指導講話(長崎県警本部ｽｸｰﾙｻﾎﾟｰﾀｰ廣瀬昌和氏)
			3年生小論講話(講師:桐原書店清水満先生)
	8	水	生徒総会・生徒会役員改選(新生徒会長:2EⅡ上川晃平)
	10	金	遠足(長崎県立総合運動公園)
	11	土	入試説明会(第3回ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽ/中学生498名保護者444名参加)
	18	土	入試個別相談会スタート(毎週土曜日10:00～15:00 全12回)
	20	月	1年生対象進路説明会 ⑤⑥
	22	水	創立144周年記念礼拝 奨励:鉄口宗久牧師
			私学振興大会(動員依頼100名)
	26	日	女子サッカー長崎県高等学校女子サッカー選手権19連覇
	27	月	3年生対象金融ﾘﾃﾗｼｰ講話(冨樫和博先生:SMBC日興証券)
	28	火	県高校駅伝競走大会(男子優勝3年連続18回目・女子3位)
	29	水	3年生DV防止講話(悦晴美先生:DV防止ながさき事務局長)
			アレセイア湘南中学校来校(生徒43名教師5名) 平和学習
11	5	水	NHK学園出張講座(NHK長崎放送局・長瀬萌々子アナウンサー)
	11	火	ｸﾘｽﾏｽﾂﾘｰ点灯式
	12	水	芸術鑑賞(ゴスペルグループ・Starlights)
	17	月	2年生対象小論文講演会(藤江佐智子先生:第一学習社)
	19	水	諫早市選挙管理委員会による生徒説明会
	21	金	特別礼拝(大村教会・稲葉義也牧師)
	25	火	2年生修学旅行保護者説明会
12	3	水	産婦人科医による性教育講話(諫早記念病院:塚本大空先生)
	10	水	人権・同和教育(北朝鮮拉致問題 映画:めぐみ視聴)
	15	月	3年生対象年金セミナー(諫早年金事務所:古川さん)
	18	木	学校ｸﾘｽﾏｽ
			部活動全国大会壮行会(男子陸上・女子サッカー・男子バレー)
	19	金	終業式・家族クリスマス
	20	日	全国高等学校駅伝競走大会 男子陸上部 第51位 2時間9分47秒
			全九州高校卓球新人戦 男女6位(全国選抜大会出場権獲得)
	28	日	大学入学共通テスト直前学習合宿(～2日)
1	1	木	元旦礼拝 (学院宗教主事鐵口宗久)
	8	木	始業式
	16	金	特別入試 1423名出願(昨年1366名)(一昨年1214名)
	17	土	大学入学共通テスト(～18日)(56名受験)
	24	土	県新人大会 ｻｯｶｰ女子優勝(15連覇)
			県高校新人駅伝競走大会男子優勝(4年連続16回目)・女子第2位
2	3	火	一次入試68名出願(昨年68名)(一昨年186名)
	14	土	第1回入学予定者制服採寸
	26	木	卒業礼拝・校友会入会式・卒業式予行
	27	金	卒業式(卒業生302名)
3	2	月	1学年対象小論文講演会(玉田真由美先生:(株)Gakken)
	3	火	2年生修学旅行(韓国・東京)～3/6
	9	月	2次入試(3名)
	16	月	入学予定者集合日 355名 (昨年度292名)・進級判定会議
	18	火	3学期終業式
	19	木	全国高校選抜卓球大会出場 男女卓球部
			＊国公立大29名・公務員名70名(うち自衛官25名)合格

2025年度（令和7年度） 行事等実績報告　　**認定こども園　鎮西学院幼稚園**

月	日	曜	行　事　等	月	日	曜	行　事　等
4	9	水	1学期始園式	10	18	土	運動会
	10	木	入園式		21	火	鎮西学院創立記念礼拝
	24	木	鯉のぼり掲揚		22	水	私学振興大会
5	10	土	親子で楽しむ芋畝つくり		27	月	鎮西学院高校3年生　講座制授業受け入れ
	15	木	親子歓迎遠足（長崎県立総合運動公園）		28	火	芋ほり
	19	月	鎮西学院高校3年生　講座制授業受け入れ		31	金	2026年度入園願書受付（1号認定児）
	20	火	学院内遠足	11	6	木	秋を楽しむ会（ゆで芋会）
	22	木	ひかりの会総会		10	月	収穫感謝祭礼拝
			内科健診（～23日）		11	火	クリスマスツリー点灯式
	29	木	芋苗植え		13	木	諫早市年金事務所訪問（年中・年長）
6	5	木	きらきらクラブ（食育おはなし会）		18	火	内科健診（～19日）
	10	火	保育参観（～13日）		20	木	なおちゃんの音もだちコンサート（ひかりの会主催）
	16	月	ファミリーサンクスデー礼拝	12	12	金	クリスマス礼拝・祝会（幼稚園部：西山ホール）
	17	火	ボディースクール（ひかりの会主催）		13	土	クリスマス礼拝・祝会（保育部：園遊戯室）
	19	木	給食試食会		18	木	鎮西学院高校クリスマス出演（年長児）
	23	月	幼稚園創立70周年記念礼拝		19	金	2学期終園式・宅島サンタ来園
	24	火	歯科健診		23	火	おひさまくらぶ（未就園児親子教室）クリスマス会
	30	月	花の日・こどもの日訪問				個人面談開始（～26日）（3歳以上児）
7	1	火	プール遊び開始		25	木	卒園生クリスマス会・家族クリスマス
	7	月	七夕集会	1	9	金	3学期始園式
	11	金	アンナちゃんデー・平和祈念ミュージアム見学		20	火	マラソン開始・がんばろうぜんざい会
	15	火	そうめん流し	2	3	火	節分集会
	17	木	1学期終園式		10	火	保育参観（～13日）
	18	金	そら組わくわくデー（年長組）		19	木	きらきらクラブ（食育おはなし会）
	28	月	卒園生夏の集い		26	木	新入園児保護者説明会（1号認定児）
			個人面談開始（～26日）（3歳以上児）	3	2	月	そら組お出かけ日（島原鉄道乗車体験）
8	8	金	平和祈念礼拝		3	火	ひなまつり集会
	9	土	平和祈念式典（年長組参加）		10	火	お別れ集会
9	1	月	2学期始園式		14	土	卒園式
	5	金	交通安全指導（交通安全協会指導員）		19	木	3学期終園式
	9	火	きらきらクラブ（食育おはなし会）		24	火	新入園児保護者説明会（2・3号認定児）
	19	金	幼稚園創立70周年記念行事（マジックDO）				
10	4	土	2026年度園児募集説明会				
	15	水	島原農業高校生　見学受け入れ				

◎毎学期1回、「親子礼拝」（ピースチャペル）を実施。
◎毎月、お誕生会を実施。（園ホールにて）
◎年5回、遊具等の安全点検（毎学期始め、夏期休業始め、年度終わり）
◎毎月2回、市立図書館巡回バス「どんぐり号」来園。
◎週3日子育て支援活動実施。
◎火災避難訓練毎月実施。不審者・地震避難訓練　年間各2回実施。
◎鎮西学院高校1年生　交流学習（家庭科）

常任理事会　開催状況

第 1 回:2025 年 4 月 23 日　高校教職員組合との協議状況について／年間資金繰りについて／被爆 80 周年記念事業について／育児・介護休業規程の一部改正について　他

第 2 回:2025 年 5 月 9 日　大学新学部設置計画進捗状況について／改正私学法施行に伴う役員・評議員の選任手続きについて／第三者委員会調査報告書の公表について　他

第 3 回:2025 年 6 月 6 日　6 月定時評議員会以降の理事会・評議員会運営について／高等学校教職員組合との協議について／145 周年記念事業について　　他

第 4 回:2025 年 7 月 4 日　大学 学内 LAN 工事契約について(決議)／寄附行為及び諸規程の改正について／高等学校教職員組合からの要求書及び回答について　他

第 5 回:2025 年 8 月 1 日　学院長候補者の決定について(決議)／高校 体育館床改修工事の契約締結について(決議)／高等学校教職員組合への回答について　他

第 6 回:2025 年 9 月 12 日　役員・評議員の守秘義務違反に関する調査委員会の設置について／給与体系の抜本的見直しについて／2026 年度予算大綱について　他

第 7 回:2025 年 10 月 10 日　給与体系の見直しの方向性について／最低賃金改定に伴う兼務職員の賃金の見直しについて　他

第 8 回:2025 年 11 月 14 日　鎮西学院高等学校外国人留学生規程の一部改正について(決議)／総宗教主事・宗教主事の位置づけについて／冬季賞与について　他

第 9 回:2025 年 12 月 5 日　代表業務執行理事・業務執行理事の選定について／理事職務権限規程・内部監査規程の制定について／3月臨時評議員会の開催通知について　他

第 10 回:2026 年 1 月 9 日　新学部設置に伴う大学校舎の建築設計・監理業務委託契約について(決議)／本部・大学教職員の定年規程(就業規則)の見直しについて　他

第 11 回:2026 年 2 月 6 日　就業規則の一部見直しについて／給与並びに退職金規程の見直しについて／高校寮費等の値上げについて／組織規程について　他

第 12 回:2026 年 3 月 6 日　寄付行為変更(会計監査人定数変更等)について(決議)／鎮西学院大学 研究活動不正行為防止規程の改定について(決議)／評議員会召集通知について(決議)／役員報酬について　他

第 13 回:2026 年 3 月 31 日　7 号評議員・8 号評議員の補欠について　他

理事会　開催状況

2025 年 5 月 2 日 臨時理事会

第 1 号議案:役員候補者委員会の設置に伴う評議員会の招集について

第 2 号議案：育児・介護休業規程の一部改正について

第 3 号議案：第三者委員会調査報告書の公表について

2025 年 5 月 23 日 第 1 回理事会

第 1 号議案：2024 年度決算・事業報告の承認及び監事監査報告について

2025 年 5 月 23 日 第 2 回理事会

第 1 号議案：任期満了に伴う理事の選任について

第 2 号議案：任期満了に伴う理事長（第 1 回理事長候補者の推薦）について

第 3 号議案：任期満了に伴う評議員（学識経験者）の選任について

2025 年 5 月 23 日 第 3 回理事会

第 1 号議案：理事長選任（第 2 回 理事長の選定決議）について

第 2 号議案：6 月定時評議員召集の決議について

2025 年 6 月 27 日 理事会（臨時理事会）

第 1 号議案：高等学校学則の一部改正について

第 2 号議案：学院長候補者選考委員会の設置について

第 3 号議案：評議員会召集について

第 4 号議案：役員の懲戒処分について

2025 年 8 月 4 日 臨時理事会

第 1 号議案：学校法人鎮西学院学院長の選任について

2025 年 9 月 26 日 理事会

第 1 号議案：鎮西学院高等学校学則の変更について（学納金関係）

第 2 号議案：認定こども園鎮西学院幼稚園園則の変更について

第 3 号議案：認定こども園鎮西学院幼稚園 就業規則の変更について

第 4 号議案：基本財産の一部処分（高等学校倉庫）について

第 5 号議案：役員・評議員等の守秘義務違反に関する特別調査委員会の設置について

第 6 号議案：2026（令和 8）年度予算大綱について

2025 年 12 月 19 日 理事会

第 1 号議案：業務執行理事及び代表業務執行理事の選定について

第 2 号議案：学校法人鎮西学院 理事職務権限規程について

第 3 号議案：学校法人鎮西学院 内部監査規程について

第 4 号議案：評議員会召集通知について

第 5 号議案：私大協役員賠償責任保険への継続加入について

2026 年 3 月 27 日 第 1 回理事会

第 1 号議案：特別調査委員会報告書の承認及びの評議員会へ報告する件について

2026 年 3 月 27 日 第 2 回理事会

第 2 号議案：2025（令和 7）年度 補正予算について

第 3 号議案：2026（令和 8）年度 事業計画ついて

第 4 号議案：2026（令和 8）年度 当初予算について

第 5 号議案：鎮西学院第Ⅱ期中期計画の見直しについて

第 5-2 号議案：鎮西学院寄附行為の一部改正について

第 6 号議案：組織規程の一部改正について

第 7 号議案：鎮西学院（本部・大学、高校、認定こども園）就業規則の一部改正について

第 8 号議案：鎮西学院（本部・大学、高校、認定こども園）給与並びに退職金規程の一部改正について

第 9 号議案：鎮西学院役員等報酬について

第 10 号議案：鎮西学院大学 研究活動不正行為防止規程について

第 11 号議案：6 月定時評議員会の開催通知の件

評議員会 開催状況

2025 年 5 月 13 日 臨時評議員会

【審議事項】 第 1 号議案：評議員会における役員候補者選考委員会委員の選出について

【報告事項】 ア：第三者委員会報告書の公表について

イ：監事候補者の選考について

2025 年 5 月 23 日 定時評議員会

【審議事項】 第 1 号議案：評議員会の選任について

第 2 号議案：監事の選任について

第 3 号議案：会計監査人の選任について

【諮問事項】　第 4 号議案：2024 年度決算・事業報告及び監事監査報告について

第 5 号議案：役員選任に係る意見聴取について

2025 年 6 月 27 日 定時評議員会

【報告事項】　ア：第三者委員会の経費について

イ：改選役員・評議員について

2025 年 7 月 25 日 臨時評議員会

【決議事項】　第 1 号議案：議事録署名人の選出について

第 2 号議案：議長の選出について

第 3 号議案：学院長候補者選考委員会委員の選出について

2025 年 8 月 4 日 臨時評議員会

【諮問事項】　第 1 号議案：任期満了に伴う学院長候補者選考委員会の結果について

【報告事項】　ア：2025 年度鎮西学院平和祈念式典について

イ：諫早市からの依頼「朗読劇 赤とんぼ 1945 年桂子の日記」

2026 年 3 月 27 日 臨時評議員会

【諮問事項】　第 1 号：2025（令和 7）年度 補正予算について

第 2 号：2026（令和 8）年度 事業計画について

第 3 号：2026（令和 8）年度 当初予算について

第 4 号：鎮西学院第Ⅱ期中期計画の見直しについて

第 5 号：鎮西学院寄附行為の一部改正について

第 6 号：鎮西学院役員等報酬について

【報告事項】　ア：学部長候補者報告について

イ：代表業務執行理事について

ウ：鎮西学院大学 新学部設置計画進捗状況報告

エ：その他（特別調査委員会から評議員会への報告）

① 学生募集

【定員充足率の推移】カッコ内は充足率

	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
在籍学生数	608 (104.8%)	621 (107.0%)	659 (113.6%)	670 (115.51%)	644 (111.03%)
1年次入学者数	175 (125%)	166 (118.5%)	182 (130%)	180 (128%)	146 (104.2%)
(内訳)					
社会福祉学科	53 (106%)	50 (100%)	49 (98%)	52 (104%)	34 (68%)
経済政策学科	83 (166%)	82 (164%)	77 (154%)	70 (140%)	69 (138%)
多文化コミュニケーション学科	39 (97.5%)	40 (100%)	56 (140%)	58 (145%)	43 (107.5%)

※ 多文化コミュニケーション学科の学生数は交換留学生含む

【留学生入学者推移】

	2022 年度	2023 年度		2024 年度	2025 年度	2026 年度
	4月	4 月	10 月	4 月	4 月	4 月
1 年次	16	17	-	22	18	24
うち私費	13	11	-	14	8	11
うち交換留学生	3	6	-	8	10	13
3 年次	1	0	-	2	1	2
うち三年次編入	1	0	-	1	1	2
うち短期	0	0	-	1	0	0
学部生合計	17	17	-	24	19	26
日本語教育プログラム	138	42	-	0	-	-
留学生日本語別科			40	32	33	32
留学生合計	155	59	40	55	52	58

② 主な教育研究活動

【2025 年度累積 GPA 学年別平均】

	年　　度	1 年	2 年	3 年	4 年
平　均	2023 年	2.62	2.49	2.53	2.80
	2024 年	2.56	2.62	2.48	2.64
	2025 年	2.66	2.56	2.67	2.52
最　高	2023 年	3.83	3.82	3.77	3.92
	2024 年	3.90	3.78	3.83	3.77
	2025 年	3.98	3.89	3.95	3.82
最　低	2023 年	0.79	0.42	0.37	1.11
	2024 年	0.14	1.15	0.55	0.95
	2025 年	0.71	0.47	1.04	0.82

【学長賞・成績優秀賞】

学長賞・・・卒業時に、4 年間で卒業要件を全て充足し、かつ累積 GPA が 3.50 以上の上位の者、若しくは学期毎に、20 単位以上を修得し、かつ累積 GPA が 4.0 以上の者。

成績優秀賞・・・学期毎に、20 単位以上を修得し、GPA が 3.50 以上の者。

2023 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前　　期	7	15	14	0
後　　期	17	10	9	9＋1(学)
2024 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前　　期	28	11	12	1
後　　期	25	3	12	8＋1(学)
2025 年度	1 年	2 年	3 年	4 年
前　　期	20＋1(学)	24＋1(学)	17	0
後　　期	24＋1(学)	17	15＋1(学)	14＋1(学)

【障害学生の在学状況】

	聴覚障害学生	肢体不自由学生	そ　の　他	計
2023 年度	0 人	1 人	19 人	20 人
2024 年度	0 人	1 人	27 人	28 人
2025 年度	0 人	3 人	31 人	34 人

【科目等履修生の受入状況】

	前　　期	後　　期
2023 年度	9 人	8 人
2024 年度	9 人	7 人
2025 年度	4 人	5 人

（English ProficiencyⅡ、肢体不自由者の理解と支援、病弱者教育課程・指導法、発達障害者教育総論、特別支援教育実習、Academic English Ⅰ、臨床心理学、知的障害者教育課程論、視覚障害者教育総論、聴覚障害者教育総論、経済学入門Ⅰ、社会福祉調査の基礎ほか）

【地域総合研究所共同研究費の配分状況】

特定研究４件、特別研究５件　計９件

	研究代表者	研究課題名
特定研究	菅　達也、加藤　久雄	鎮西平和学（鎮西学院史）の推進
	吉野　浩司	商店街および中小企業のDX化調査に基づく提言
	裵　瑢俊	文系データサイエンス人材の育成に向けたカリキュラム研究
	原田　尚之	地域課題解決型教育を通した高大連携
特別研究	吉野　浩司	韓国での国際比較文明学会参加と鈴木栄太郎-関連のフィールドワーク
	アハメド・ジュナエド・ウッディン	参加型農業アプローチによるバングラディッシュ農村部における貧困軽減への貢献に関する研究
	山口　弘幸	ユニバーサルツーリズムを推進する地域支援組織の役割と地域連携に関する調査研究
	加藤　久雄	長崎県北部・離島の民族予備調査～墓制と郷土料理について～
	力久　愛	東アジア地域の大学におけるソーシャルワーク共同学習プログラムの開発と実践－台湾・長榮大学との取組に焦点を当てて－

【海外交流協定校一覧】

中国	天津工業大学
	南大学
	重慶大学
	山東外国語職業技術大学
	南通大学
	長春大学
香港	香港公開大学
韓国	仁徳大学
	大邱大学
	慶南情報大学
タイ	フォン・コマーシャル・アンド・テクニカル・カレッジ
	アジアン・スカラーズ大学

フィリピン	バギオ大学
	エミリオ・アギナルド大学
台湾	長榮大学
	昆山科技大学
マレーシア	ベルジャヤ大学
インド	アッサムカジランガ大学
	シスターニヴェディータ大学
	カリンガ工業大学
カナダ	フレイザーバレー大学
アメリカ	テネシーウエスレヤン大学
ニュージーランド	ワイカト大学
バングラデシュ	ダッカ大学

部活動の主な成績・活動】　強化指定部：卓球部、バレー部、サッカー部、ジャズアンサンブル部

クラブ名	大会名	結果
卓球部男子	全九州春季学生卓球選手権大会（熊本）	団体：1 部 3 位 シングルス：4 位.7 位.12 位 ダブルス：2 位
	全日本大学学生選手権大会（三重）	予選リーグ突破、ベスト 32
	全九州秋季学生卓球選手権大会（福岡）	団体：1 部 2 位 シングルス：4 位.15 位 ダブルス：2 位
	長崎県卓球選手権大会（長崎）	シングルス：ベスト8
	全日本大学学生選手権大会（大阪）	シングルス：3 名出場
	九州新人卓球選手権大会（福岡）	シングルス、ダブルス：3 位
	全九州選手権大会予選（長崎）	シングルス：3 位、9 位、13 位
	オール西日本卓球大会（滋賀）	シングルス：出場
	全日本学生選抜卓球大会（福岡）	シングルス：出場
	大阪国際招待卓球選手権大会（大阪）	シングルス：出場、ダブルス出場
	東京卓球選手権大会（東京）	シングルス：出場、ダブルス出場
	全九州卓球選手権大会（長崎）	シングルス：出場、ダブルス 2 位
卓球部女子	全九州春季学生卓球選手権大会（熊本）	団体：1 部 6 位
	全九州秋季学生卓球選手権大会（福岡）	団体：2 部 4 位
	長崎県卓球選手権大会（長崎）	シングルス：ベスト 16
	九州新人卓球選手権大会（福岡）	シングルス：9 位、13 位 ダブルス：5 位

	全九州卓球選手権大会予選(長崎)	ダブルス:9 位
	オール西日本卓球選手権大会(滋賀)	シングルス:出場
	全九州卓球選手権大会(長崎)	ダブルス:出場
バレー部男子	九州大学春季バレーボール男子チャレンジマッチ長崎大会	3 位
	天皇杯全日本バレーボール選手権大会 長崎ラウンド	準優勝
	九州大学秋季バレーボール男子チャレンジマッチ福岡大会	準優勝(1 部昇格)
バレー部女子	九州大学春季ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ 女子ﾁｬﾚﾝｼﾞﾏｯﾁ佐賀大会	チャレンジマッチ優勝 一部昇格
	2025 年度女子 1 部リーグ秋季大会	1 部残留 12 チーム中 11 位
	皇后杯全日本バレーボール選手権大会 長崎県予選	2 回戦負け
サッカー部	第 50 回九州大学サッカートーナメント大会 本戦	1回戦 東海大学熊本 PK 5-3 2回戦 宮崎産業経営大学 0-1
	第 6 回九州大学サッカー新人戦	第1節 長崎国際大学 4-3 第2節 九州共立大学 0-3 第3節 九州医療科学大学 0-1
	第 79 回国民体育大会 長崎県国体サッカーチーム(成年男子)選出	石川 大翔
サッカー部	第40回 九州大学サッカーリーグ3部	優勝 MVP、得点王 本川瑠空 優秀選手賞 岳下竜也 ベスト DF 賞 石川大翔 ベスト MF 賞 今福海里
	まるたか生鮮市場協賛 サッカー教室 トランス・コスモススタジアム	
ウエスレヤンジャズアンサンブル WJE	鎮西学院大学入学式(4/1)	
	原城一揆まつり(4/2)	
	ロータリークラブ合同例会(4/14)	
	こうじろフェス(4/20)	
	佐世保海辺のコンサート(4/29)	
	ロータリークラブ年次大会・懇親会(5/3)	
	にじフェス(5/31)	
	NPO かぜのおと(5/31)	
	ローターアクト(6/20)	
	諫早北ロータリークラブ(6/26)	
	鎮西学院大学第 1 回オープンキャンパス(7/19)	
	ルノンマルシェ(8/2)	

	鎮西学院大学大第 2 回オープンキャンパス(8/3)	
	諫早市平和の集い(8/9)	
	鎮西学院大学第 3 回オープンキャンパス(8/23)	
	のんのこ諫早まつり(9/14)	
	鎮西学院大学第 4 回オープンキャンパス(9/20)	
	国民文化祭(9/21)	
	アイランド長崎(9/27)	
	特別老人ホームしろみ秋祭(10/4)	
	結の浜フェス(10/5)	
	こうじろフェス(10/19)	
	諫早エコフェスタ(10/19)	
	＄2祭(10/25)	
	国際ロータリー2740地区大会(10/25)	
	2025 ポリオ根絶チャリティー(10/31)	
	ISAHAYA HOPE FEST2025(11/2)	
	海上保安庁伊王島灯台(11/3)	
ウエスレヤンジャズアンサンブル WJE	佐世保海辺のコンサート(11/9)	
	鎮西学院大学クリスマス点灯式(11/13)	
	灯りファンタジア(11/29)	
	フェスティビタスナタリス(12/16)	
	スターバックスコーヒー鷲崎店イベント(12/20)	
	こうじろフェス(12/21)	
	ビッグバンドジャズフェス(2/7)	
	こうじろフェス(2/15)	
	山川町公民館イベント(3/3)	
	鎮西学院大学春のオープンキャンパス(3/20)	
	アイランド長崎(3/28)	
ぶっく倶楽部	諫早としょかんフェスティバル(7/6)	
	水曜おはなし会(8/6・9/3)[諫早図書館]	
	子ども読書リーダー養成講座(7/25・/27) 県事業サポート[波佐見図書館・つしま図書館]	
	全国大学ビブリオバトル予選会(7/6、9/18) [諫早図書館・長崎県庁]	
	全国大学ビブリオバトルブロック決戦 長崎特別枠(10/19)[ミライ on 図書館]	

	全国大学ビブリオバトル本戦(11/23) 運営補助・バトラー出場[アルカス SASEBO]	準決勝出場
	3 校合同 読書に関する学習会(12/12) [諫早特別支援学校]佐世保特別支援学校はリモート	
	冬のおはなし会(12/13)[諫早図書館]	
	英語学習放課後子ども教室(12/21)[大村中央公民館]	
	「市長さんと語る会」(2/17)[諫早図書館] (主催:諫早図書館利用者団体連絡協議会)	

鎮西学院高等学校 2025年度 事業報告(進路実績)

区分	種別	合格者数	主な合格先(人数)
進学	国公立大学 準大学	29名	長崎大学(6)・熊本大学(2)・山口大学(2)・大分大学(1)・ 岡山大学(1)・鹿児島大学(1)・京都教育大学(1)・ 宇都宮大学(1)・山梨大学(1) 長崎県立大学(4)・山口県立大学(1)・北九州市立大学(1)・ 叡啓大学(1)・神戸市外国語大学(1)・釧路公立大学(2)・ 防衛医科大学校(1)・防衛大学校(2)
	私立大学	189名	津田塾大学(1)・明治学院大学(2)・東洋大学(2)・ 帝京大学(4)・桜美林大学(2)・國學院大學(1)・創価大学(3)・芝 浦工業大学(1)・同志社大学(1)・関西学院大学(1)・ 同志社女子大学(1)・京都外国語大学(1)・近畿大学(1)・ 甲南女子大学(1)・大阪産業大学(2)・桃山学院大学(1)・ 西南学院大学(8)・福岡大学(5)・九州産業大学(9)・ 鎮西学院大学(34)・活水女子大学(12)・長崎国際大学(8)・ 長崎純心大学(6)・長崎総合科学大学(3)・長崎外国語大学(1) 他
	短期大学	4名	福岡医療短大(1)・福岡こども短大(1)・佐賀女子短大(1)・ 長崎短大(1)
	看護学校	5名	県央看護学校(3)・長崎市医師会看護学校(2)
	専門学校	72名	長崎医療こども専(9)・長崎県美容専(2)・長崎医療技術専(1)・長 崎歯科衛生士専(2)・長崎ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学院(2)・ 麻生美容専(3)・福岡医療専(3)・大村美容ﾌｧｯｼｮﾝ専(3)・ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ教育学院(4)・公務員ﾋﾞｼﾞﾈｽ専(2)・ 中村調理製菓専(1) 他
就職	公務員	45名	長崎県庁(4)・長崎市役所(1)・諫早市役所(1)・ 大村市役所(4)・国家一般職(5)・刑務官(3)・ 裁判所事務官(2)・東京都(1)・税務職員(2)・ 皇宮護衛官(1)・海上保安学校(2)・長崎県警(4)・警視庁(4) 神奈川県警(6)・・福岡県警(1)・大阪府警(1)・長野県警(1)・島原 地域広域市町村圏組合消防(1)・筑紫野大宰府消防(1)
	自衛官	25名	一般曹候補生(13)・自衛官候補生(12)
	一般企業	14名	三菱重工パワー検査(1)・トヨタレンタリース長崎(1)・ ALSOK 九州(1)グラバーヒルトン長崎(1)・山内住建(1)・ 一般社団法人長崎県林業コンサルタント(1)・ エムエイチアイオーシャニクス(1)・長崎空港ビルディング(1)・JAL グランドサービス長崎(1)・ホンダカーズ佐賀(1) 他
	家事手伝	1名	

鎮西学院高等学校　2025年度部活動実績報告

【運動部】

長崎県高等学校総合体育大会

団体競技

優　勝　男子卓球部（6大会連続37回目）
女子卓球部（5大会連続35回目）
女子サッカー部（14大会連続14回目）
女子バスケットボール部（4年ぶり2回目）
男子陸上部（駅伝競技）（3年連続18回目）

準優勝　男子サッカー部

個人競技

優　勝　男子卓球競技シングルス　瀬尾幸太郎（3年）
女子卓球競技シングルス　阿部　心愛（1年）
男子陸上 3000M 障害　藤嵜　潤慈（3年）

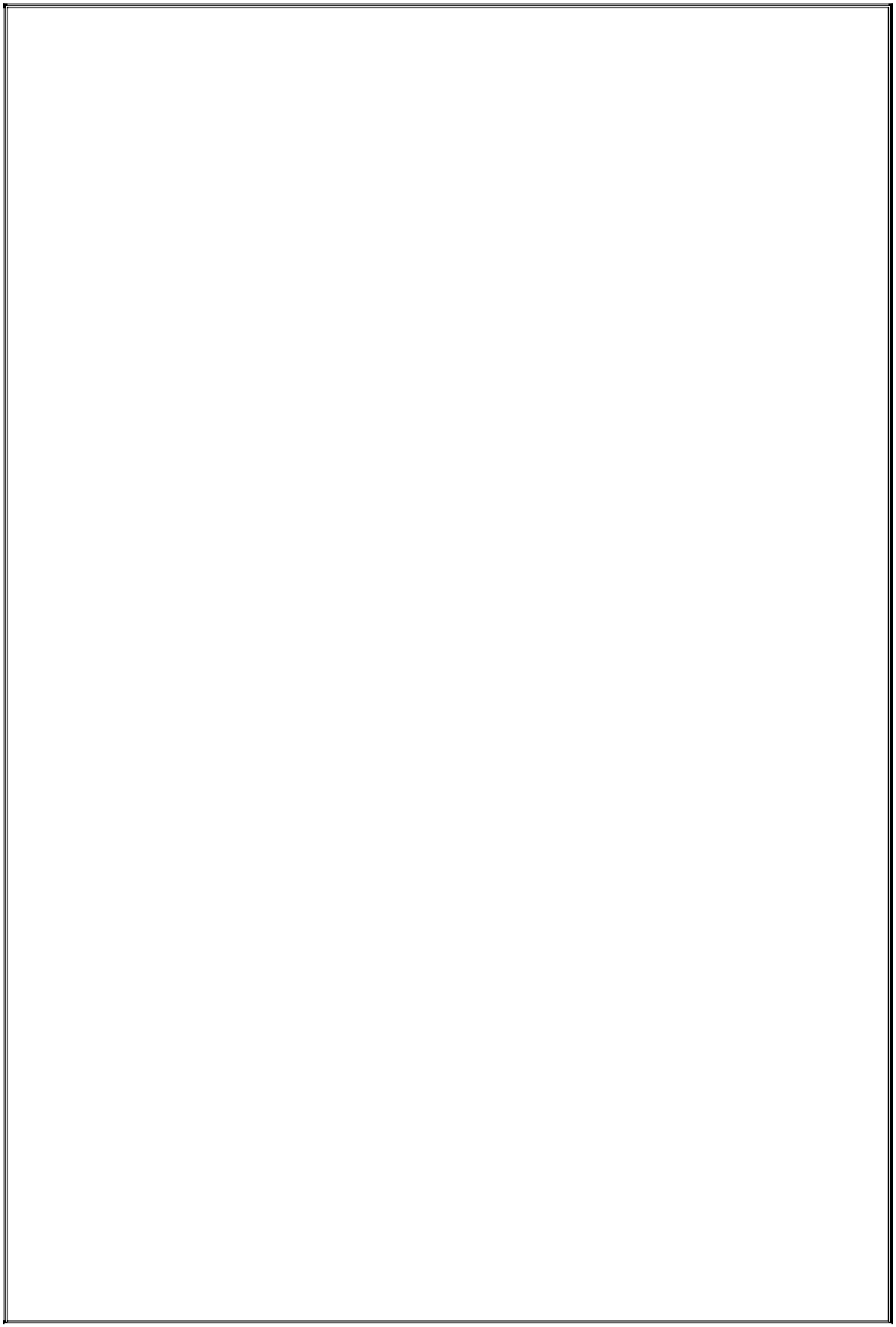
第2位　男子陸上 5000M　内田　涼太（3年）
男子陸上 1500M　百田　好希（2年）

第3位　女子陸上 800M　山口　咲希（2年）
女子柔道（63kg 級）　山嵜　雫（1年）
女子柔道（70kg 級）　粟戸　心春（1年）
体操競技　女子個人総合　杉下佳帆子（2年）
水泳競技　男子 200M個人メドレー　第3位　東川　拓未（2年）

その他

女子サッカー部　　第34回全日本高等学校女子サッカー選手権大会出場
男子バレー部　　第78回全日本バレーボール高等学校選手権大会

【文化部】

吹奏楽部　第70回長崎県高等学校吹奏楽コンクール　金賞及び県代表
第 38 回長崎県マーチングコンテスト　金賞及び県代表
第52回長崎県アンサンブルコンテスト　金賞及び県代表

箏曲同好会　第48回全国高等学校総合文化祭（かがわ総文祭 2）